

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	PC演習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	中村 直人	情報統計科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法士・作業療法士は、業務の報告や引継ぎのためのワープロソフト、患者の日々の変化を数値化するための表計算ソフト、学会・研究会等の発表に用いるプレゼンテーションソフト等が使えることが必須になってきている。この科目では、これらの基本的な使い方を理解すると同時に、インターネットの仕組みについて理解し、その中で自分自身がどのように振舞わなければならないかについて学ぶ。					
行動目標(SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・本校ポータルサイトのデスクネッツで回覧板の作成、メールの作成等ができる。 ・インターネットの世界と現実世界は違っているようでそれほど違わないことを理解する。 ・プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本的な使い方を理解する。 ・ワープロソフト(ワード)の基本的な使い方を理解する。 ・表計算ソフト(エクセル)の基本的な使い方を理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
学生により、ソフトウェア使用の経験が大きく異なるため、場合により個別に補習等を行うことがある。						
教科書・参考書						
特に教科書は使わないが、使い方に関する本はたくさん出版されているので、それらを参考にするのは						
受講時留意点、その他						
授業の進み具合によっては、内容が変更される場合がある。 授業中にスマートフォンを使用する場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	成績評価は、授業の中で作成する提出物(プレゼンテーションファイル等)にて行う。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	デスクネットの使用法Ⅰ ：各人に与えられるデスクネットのアカウントを用いてログイン・ログアウトする方法を学び、基本設定を行う。	中村		PC室
第2回 4月12日	デスクネットの使用法Ⅱ ：本項で最も用いられる回覧板の使用法について理解する。また、メールの使用法について学ぶ。	中村		PC室
第3回 4月19日	デスクネットの使用法Ⅲ ：スケジュール機能を使って時間割を作成し、共有する方法を理解する。	中村		PC室
第4回 4月26日	インターネットリテラシー ：インターネットの成り立ちとそれを利用していくために心得ておくべきことを理解する。	中村	配布資料	PC室
第5回 5月10日	SNS利用の注意点 ：誰もが利用しているSNSについて、個人情報など、医療従事者を志すものが留意すべき事柄を理解する。	中村	配布資料	PC室
第6回 5月17日	インターネット上での情報の検索 ：インターネット上の情報がどのように役に立ち、どのように危険かについて理解する。	中村	配布資料	PC室
第7回 5月24日	オペレーティングシステム (Windows) の基礎知識 ：コンピュータで、我々が無意識的に使っているオペレーティングシステムがどのようなことをしているかを理解する。	中村		PC室
第8回 5月31日	自分をプレゼンしようⅠ ：パワーポイントを使って自己紹介のプレゼンテーションを作成する。	中村		PC室
第9回 6月7日	自分をプレゼンしようⅡ ：前回の続き。作成したプレゼンテーションファイルの提出をする。	中村		PC室
第10回 6月14日	履歴書を作ろう ：ワードを使って、履歴書を作成し、ファイルを提出する。	中村	配布資料	PC室
第11回 6月21日	表計算ソフトは何ができるか ：表計算ソフト（エクセル）の成り立ちと基本的な仕組みについて理解する。	中村		PC室
第12回 6月28日	データからグラフを作る ：エクセルを使って、データから様々なグラフを作成し、結果を提出する。	中村		PC室
第13回 7月5日	式が使えると色々と便利Ⅰ ：セルに式を埋め込み、自動的に計算させる方法について理解する。	中村	配布資料	PC室
第14回 7月12日	関数が使えると色々と便利Ⅰ ：関数の基本的な考え方について理解する。	中村		PC室
第15回 7月19日	関数が使えると色々と便利Ⅱ ：関数を使って簡単な統計を行う。	中村		PC室
定期試験	(提出物により評価を行うため、定期試験は行わない)			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	心理学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	中村 直人					
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人間の行動や基礎にある原理を学び、こころの理解に必要な基本的知識を身につ					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動を引き起こす入力としての感覚・知覚、行動を支える意識・情動について理解する。 2. 行動を司るメカニズムとしての学習・記憶・思考について理解する。 3. 個人を形作る特徴と人同士のかかわり合いによる行動の変化について理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>理学療法士・作業療法士は、体や心にハンディキャップを持つ人をサポートすることが仕事である。そのため、健常な人の心を知っておくことは非常に重要である。</p> <p>将来受験する国家試験では「心理学」という分野はないが、関係する設問が色々な分野(特に臨床心理学、運動学、生理学等)にまたがって出題されるので、単なる教養科目と思わないで受講すること。</p>						
教科書・参考書						
教科書は使用せず、プリントを配布する。						
受講時留意点、その他						
授業の進み具合によっては、内容の変更、補講等が行われる場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行い、成績評価を行う。評価割合は原則として100%とする。				
小テスト	0	理解度を確かめるための確認として行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)						

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月7日	感覚と知覚（我々の行動を引き起こすメカニズムの入り口としての感覚と知覚を視覚を例にとつて学ぶ） KW：桿体、錐体、盲点、奥行き知覚、恒常性、錯視	中村	資料配布	201
第2回 4月14日	意識（我々の行動を支える意識の活動とその変容について学ぶ） KW：サーカディアンリズム、感覚遮断、催眠、薬物依存	中村	資料配布	201
第3回 4月21日	学習Ⅰ（我々の行動を引き起こす学習の基礎について学ぶ） KW:古典的条件づけ、オペラント条件づけ、弁別、般化、強化	中村	資料配布	201
第4回 4月28日	学習Ⅱ（人間の運動学習に深くかかわる概念を学ぶ） KW:結果の知識、遂行の知識、分散学習と集中学習、運動プログラム	中村	資料配布	201
第5回 5月12日	1-4回のまとめと解説	中村		201
第6回 5月20日	記憶（我々が頭の中に情報を保持するための基本的メカニズムについて学ぶ） KW:忘却、干渉、宣言的記憶、手続き的記憶	中村	資料配布	201
第7回 5月25日	動機づけ（我々の行動を強めたり弱めたりする機能について学ぶ） KW:生理的動機、内発的動機、社会的動機	中村	資料配布	201
第8回 6月1日	情動（行動を我々の意図とは異なる方向へ導くメカニズムについて学ぶ） KW:末梢説、中枢説、パペッツの回路、二重構造説、海馬、扁桃体	中村	資料配布	201
第9回 6月9日	ストレスとコーピング（同じ刺激でも異なる影響を引き起こすメカニズムとストレスへの対処について学ぶ） KW:ストレス、HPA軸、汎適応症候群、A型行動パターン	中村	資料配布	201
第10回 6月16日	6-9回のまとめと解説	中村		201
第11回 6月22日	パーソナリティと診断（我々の個性を形作る特徴とその測定法について学ぶ） KW:類型論、特性論、質問紙法、作業検査法、投影法、テストバッテリー	中村	資料配布	201
第12回 6月29日	思考と言語Ⅰ（我々が「考えている」とき、頭の中でどのようなことが起こっているかについて学ぶ） KW:問題解決、表象、概念	中村	資料配布	201
第13回 7月6日	思考と言語Ⅱ（我々がどのようなやり方で考え、その結果をどのように整理しているかについて学ぶ） KW:推論、文章理解	中村	資料配布	201
第14回 7月13日	人間関係の心理（他者の存在が我々の行動にどのように影響するか学ぶ） KW:アイヒマン実験、認知的不協和、責任の拡散、リスクシフト	中村	資料配布	201/203
第15回 7月20日	11-14回のまとめと解説	中村		201/203
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	科学哲学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	岩崎 大(非常勤)					
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身につける。					
行動目標(SBO)						
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>科学は人類の生活を豊かにしてきた。しかしその一方で、科学が人類に様々な危機をもたらしていることも事実である。本講義では、リハビリテーションを含む人間の生、そして死のあらゆる営みに関与する科学の実相を明らかにしていく。科学を哲学的に分析することによって、科学のもつ普遍性、確実性は脅かされることとなる。本講義の目標は、科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身につけることである。</p>						
教科書・参考書						
<p><教科書> 稲垣 諭:『リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション』 春風社 <参考図書> A.F.チャルマーズ:『科学論の展開』 恒星社厚生閣 岩崎 大:『スマホと哲学』 春風社 その他、講義中に適宜示唆する</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期 火曜日の3,4限に開講(偶数月の第2火曜日を除く) 講義形式であるが、参加型の課題やグループディスカッションも行う。 哲学とは、知識を蓄積することではなく、生の経験から問いを立て、自らの施行を展開していくことである。そのため講義では、問いを自らの生に関わる問題としてとらえ、思案する態度が重要である。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/5	哲学とは何か	岩崎		講堂
第2回 4/5	哲学に何ができるのか	岩崎		講堂
第3回 4/19	科学的な推論とは①	岩崎		講堂
第4回 4/19	科学的な推論とは②	岩崎		講堂
第5回 5/10	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題)①	岩崎		講堂
第6回 5/10	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題)②	岩崎		講堂
第7回 5/24	反証主義	岩崎		講堂
第8回 5/24	理論負荷性	岩崎		講堂
第9回 6/7	科学の発展①	岩崎		講堂
第10回 6/7	科学の発展②	岩崎		講堂
第11回 6/21	リハビリテーションと哲学①	岩崎		講堂
第12回 6/21	リハビリテーションと哲学②	岩崎		講堂
第13回 7/5	臨床における倫理的問題①	岩崎		講堂
第14回 7/5	臨床における倫理的問題②	岩崎		講堂
第15回 7/12	まとめ	岩崎		講堂
定期試験	前期末試験			

- 3限 13:00～14:30
- 4限 14:40～16:10

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	生活社会科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	中原留美子	科学哲学・人間発達学・心理学・コミュニケーション論等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期						
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	さまざまな世代の人の生活を理解するために、家庭内での生活や社会における生活を、それぞれの世代の社会規範や背景、人生観や価値観などを学ぶ。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活とは何かについてさまざまな考えを説明できる。 2. 仕事や余暇活動についての考え方を説明できる。 3. 病いや老いについての考え方を説明できる。 4. 各世代の生活について説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>理学療法士・作業療法士は様々な世代の方の生活を支援する仕事であるため、各世代の生活を理解することが重要である。その人らしい生活が送れるよう支援するためには、それぞれの生活で大切にしていること、期待されていることを知る必要がある。それぞれの生活に関する考え方を時代背景や価値観、人生観など含め、自分の身の回りの人から聴取することによって学ぶ。</p>						
教科書・参考書						
教科書：社会学入門—社会とのかかわり方 筒井淳也・前田泰樹著。有斐閣ストウディア						
受講時留意点、その他						
事前に教科書を読み、どういう内容から自分はこう考えたなど意見交換します。予習は必須となります。意見交換はひとつの答えを導くことではなく、どうしてこういう考え方になるのか、こういう考え方もあるのかということをお互い受け止め理解することが大切です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回授業のまとめ・インタビュー内容の課題				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6	コースオリエンテーション/生活とは この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。「生活」とはどのようなものか、人生100年時代について考える。【KW】生活・ライフシフト	中原		201
第2回 4/12	出生について 出生について、妊娠・出産と選択をどう考えるかを話し合い、発表する。【KW】社会階層の閉鎖性・優生保護法・出生前診断	中原	p.12-40	201
第3回 4/20	行為の理解 p.62のコラム④とp.66-72の授業構造について、どう考えるかを話し合い、発表する。【KW】自分の行為の成り立ち・他人との行動との関係	中原	p.62 p.66-72	201
第4回 4/27	家族であること 家族の多様化・家族規範・子育て・介護等家族であることについて話し合い、発表する。【KW】家族・多様化・規範・ケアの社会科	中原	p.110-140	201
第5回 5/11	家族であることの意味 自分の家族の誰にどんなことを聞いてみたいかを話し合い、発表する。【KW】情報収集の内容・家族であること・イベント・出来事	中原		201
第6回 5/18	家族であることの意味 自分や兄弟・親や祖父母にとって家族であることを聴取したことを報告し、発表する。【KW】家族・イベント・出来事	中原		201
第7回 5/25	働くこと 感情労働の難しさと社会の中で働くことについて、どう考えるかを話し合い、発表する。【KW】ワークバランス・生き甲斐・感情労働	中原	p.74-108	201
第8回 6/1	働くことの意味 家族から働くことについて聴取するための具体的な内容について話し合い、発表する。【KW】情報収集内容・働くこと・仕事の選択	中原		201
第9回 6/8	働くことの意味 聴取した内容について報告し合って、発表する。【KW】働くこと・仕事の選択・やりがい	中原		201
第10回 6/15	病むこと 病気になる・怪我をすることによって、今までの生活と違う生活を送らざるを得ない状況を想像し、発表する。【KW】病気・状況・心理	中原	p.158-166	201
第11回 6/22	老いること 老いることはどういうことかを想像し、発表する。【KW】老いること	中原	p.166-172	201
第12回 6/29	人生における過去・現在・未来 1920年～2000年各世代の社会背景・流行について調べる。【KW】年代ごとの出来事・流行・社会背景	中原		201
第13回 7/6	人生における過去・現在・未来 調べたことを発表する。【KW】年代ごとの出来事・流行・社会背景	中原		201
第14回 7/13	人生における過去・現在・未来 調べたことを元に、親や祖父母に聴取し、それぞれの現在や未来につなげて理解したことを発表する。【KW】過去・現在・未来	中原		講堂
第15回 7/13	人生における過去・現在・未来 調べたことを元に、親や祖父母に聴取し、それぞれの現在や未来につなげて理解したことを発表する。【KW】過去の出来事・現在・未来	中原		講堂
定期試験	実施しない。			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語 I	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	Matthew Keighley (非常勤)	英語A、英語B				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる。 ②スピーキングとリスニング方略を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>例年、日本を訪れる観光客が増加し、日本へ移住する外国人も増加傾向にあります。医療現場では英語が共通言語として必要不可欠です。この授業では、①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる、②スピーキングとリスニング方略を学ぶ、を授業目標とします。授業だけで外国語をマスターするのは難しいので、独学の方法も紹介します。</p>						
教科書・参考書						
<p>Textbooks 1. Communication Spotlight: Starter (2nd Edition) by Alastair Graham-Marr, David Moran, Brett Reynolds and Suzanne McNeese . (Published by ABAX, 2013)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期、毎週金曜日に開講します。ただし、第六回のみ水曜日(5/18)に開講します。 適宜小テストを実施すると同時に、授業への参加態度も評価します。予習・復習と積極的な授業参加を期待します。 英和辞典か電子辞書を持参して下さい。授業の前に教科書にある知らない単語を必ず調べておくこと。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	40	前期末試験を行う。				
小テスト	30	ABAX Onlineの課題提出				
レポート	30%	授業中の課題提出				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	Introduction to the Course: Self-introductions / How does this class work?	Matthew Keighley		一般教室
第2回 4/15	Communication Spotlight Unit 0: Classroom Language & an introduction to 発音記号	Matthew Keighley		一般教室
第3回 4/22	Review Lesson: Better Self-Introductions & Classroom Language Expanded	Matthew Keighley		一般教室
第4回 5/6	Communication Spotlight Unit 1: Requests & asking for help / Connected Speech	Matthew Keighley		一般教室
第5回 5/13	Communication Spotlight Unit 1 Review & Expansion: Requests & asking for help in the workplace	Matthew Keighley		一般教室
第6回 5/18	Communication Spotlight Unit 2: Likes & Dislikes / English Spelling Awareness	Matthew Keighley		一般教室
第7回 5/27	Communication Spotlight Unit 2 Review & Expansion: Expressing Preferences at Work	Matthew Keighley		一般教室
第8回 6/3	Communication Spotlight Unit 3: Describing present <i>situations</i> / Weak Vowels	Matthew Keighley		一般教室
第9回 6/10	Communication Spotlight Unit 3 Review & Expansion: Describing present <i>states</i>	Matthew Keighley		一般教室
第10回 6/17	Communication Spotlight Unit 4: Dates & Numbers / Sentence Stress	Matthew Keighley		一般教室
第11回 6/24	Communication Spotlight Unit 4 Review & Expansion: Schedules in the Workplace	Matthew Keighley		一般教室
第12回 7/1	Communication Spotlight Unit 5: Asking about meaning / Weak Vowels Review	Matthew Keighley		一般教室
第13回 7/8	Communication Spotlight Unit 5 Review & Expansion: Checking your Understanding	Matthew Keighley		一般教室
第14回 7/15	Review & Consolidation	Matthew Keighley		一般教室
第15回 7/22	Mock Exam 模擬試験	Matthew Keighley		一般教室
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	コミュニケーション論	2	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/山口美和	基礎理学療法実習、生活社会科学、ボランティア活動論、臨床実習 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	指定教科書の著者でコミュニケーションを重視した臨床を実践されている山口先生に講義と演習を6回にわたり教示いただきます。専任教員では修士課程で心理学等学んだ経験と臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	コミュニケーションの基本を演習から学ぶとともに、自分が日常的に行っているコミュニケーションパターンに気付くことを通して自身の課題を明確にし、自己成長への取り組みを始めることができる。コミュニケーションスキルを向上させることができる。					
行動目標 (SBO)	①コミュニケーションとは何か説明できる。 ②みる、きく、伝える力を向上させることができる。 ③社会人、医療人の適切なマナーとしてのコミュニケーションとは何かを説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法士・作業療法士は対象者や家族とのコミュニケーションが不可欠である。また多職種と連携しているためにも、コミュニケーション能力は必要となる。人間関係を円滑にするためには、コミュニケーションスキルの向上が鍵となる。 自己開示、共感する「自己紹介」から始まり、前半は山口先生からコミュニケーションに必要な知識と技術を講義と演習を通して学び、後半はその知識を活かしながら、社会人、医療人として様々な場面でのコミュニケーションを体験する。第4～9回の授業は理学療法学科、作業療法学科の学生を半数ずつ混合2クラスとし、実施します。						
教科書・参考書						
教科書: 山口美和著 PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド第2版, 医学書院						
受講時留意点、その他						
ワーク中心の授業となる。積極的に参加する姿勢が望まれる。挨拶、言葉遣い、礼儀、態度だけでなく医療人としてふさわしい身だしなみについても学んでほしい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	90	授業中に行うワークシートの提出および内容にて評価する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	各単元にて行う演習場面にて、授業内容に沿った演習ができているか確認を行う。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/8	オリエンテーション, 自己紹介① 全体で自己紹介をする。 【キーワード】傾聴、雰囲気づくり	植田		講堂
第2回 4/13	自己紹介② 少人数のグループで自己紹介をする。 【キーワード】共感、同意	植田		講堂
第3回 4/22	自己紹介③ 自己紹介の効果 【キーワード】先入観、効果	植田		講堂
第4回 5/19	自分を理解する① 自分自身について知る 【キーワード】自立と自律・メタ認知・自己概念・自己肯定感・エゴグ	山口	p13~33	講堂
第5回 5/19	自分を理解する② 他者から見た自分について知る 【キーワード】逆エゴグラム・自己開示・フィードバック	山口	配布資料	107・8
第6回 5/26	人間関係と対人コミュニケーション 人間関係に必要な要素と態度について知る 【キーワード】対人コミュニケーション・ストローク・ディスカウント・人	山口	配布資料 p34~40	107・8
第7回 5/26	コミュニケーション力を育もう① コミュニケーションの種類・みることについて学ぶ 【キーワード】言語/準言語/非言語コミュニケーション・みる(見る/観る/診る/看る/ 視る)	山口	p41~49	講堂
第8回 6/2	コミュニケーション力を育もう② きくことについて学ぶ 【キーワード】聞く・聴く・リフレージング	山口	p50~59	107・8
第9回 6/2	コミュニケーション力を育もう③ 伝えることについて学ぶ 【キーワード】伝える・ほうれんそう・アイメッセージ・つうでんけいアプ	山口	p60~68	107・8
第10回 6/9	コミュニケーション実践(1) 社会人マナーとしてのコミュニケーションについて学ぶ。 【キーワード】挨拶, お辞儀, 相手の領域に入る時の姿勢	植田	p104~ 115	201
第11回 6/10	コミュニケーション実践(2) 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 (医療面接での対話の仕方)【キーワード】医療面接	植田	p134~ 147	講堂
第12回 6/17	コミュニケーション実践(3) 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 (相手との関係を築く・質問の仕方)【キーワード】関係を築く・質問の	植田	p147~ 155	201
第13回 6/17	コミュニケーション実践(4) 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 (相手を会話にのせる・話題提供)【キーワード】会話をのせる・提	植田	p156~ 165	201
第14回 6/24	コミュニケーション実践(5) 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 (話を引き出す・切り上げる)【キーワード】話を引き出す・切り上げ	植田	p165~ 174	講堂
第15回 6/30	コミュニケーション実践(6) 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 (答えにくい質問に応じる・否定的な話の対応)【キーワード】答えにくい・否定的	植田	p174~ 183	講堂
定期試験	実施しない			

1年生:(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	ボランティア活動論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	大沼賢洋、赤岩龍士、中村毎途	地域理学療法学、スポーツ科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士・作業療法士が担当します。医療施設での理学療法・作業療法の 実務経験やボランティア活動の経験も併せ、自身にできることを考え、行動できるように授 業していきます。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	ボランティアの定義を理解し、理学療法士・作業療法士として参加できる活動について知る。					
行動目標(SBO)	1 ボランティアの定義、理念について知る。 2 理学療法士・作業療法士が行えるボランティア活動について知る。 3 ボランティアの心得と注意点を知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>ボランティア(volunteer)は、ラテン語の自由意思(voluntass)が語源で、個人の自由意思に基づき、経済的報酬を求めず、その技能や時間などを提供して、社会貢献する活動と言う意味で使われています。理学療法士は、広く社会貢献を求められる国家資格であり、その専門性が有効に活用できる専門職と言えます。</p> <p>地域の健康づくり、介護予防、災害時の避難所、障がい者スポーツなど活動の場は多岐にわたります。学外における様々なボランティア活動の経験も併せ、自信にできることを考え、行動できるような豊かな人間性を備えましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】「障がい者スポーツ指導教本」2500円 【参考書】講義にて随時紹介</p>						
受講時留意点、その他						
ディスカッションでは、活発な意見交換や経験の報告を行います。積極的に参加すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	80	ボランティアに関わる企画書(A3 1枚程度)第8回で提出。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	授業参加状況				
(合計)	100					

1年生:(R02-カリキュラム)

回数 目付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 PT4/11 OT4/13	ボランティアの定義 ボランティアという活動を知る。 【キーワード】 ボランティア・役割・活動の場	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第2回 PT4/15 OT4/14	障がい者スポーツにおけるボランティア指導者の役割 障がい者スポーツにおける指導者の役割について学ぶ。 【キーワード】障がい者スポーツ指導員・スポーツ指導	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第3回 4/20	理学療法士・作業療法士とボランティア① イベントボランティアの中で理学療法士ができることについて学 ぶ。 【キーワード】障がい者スポーツ・各スポーツ大会・サポートと運営	赤岩	配布資料	PT 201 OT 109
第4回 4/27	理学療法士・作業療法士とボランティア② 災害ボランティアの中で理学療法士ができることについて学ぶ。 【キーワード】自然災害・避難所・安全	赤岩	配布資料	PT 201 OT 109
第5回 5/11	理学療法士・作業療法士とボランティア③ 日常的なボランティアの中で作業療法士ができることについて学 ぶ。 【キーワード】地域保健・介護予防・障がい者施設	中村	配布資料	PT 201 OT 109
第6回 5/18	日常的なボランティアとイベントボランティア ボランティアの種類について、他者への関わり方について経験 する 【キーワード】日常ボランティア、イベントボランティア、レクリエーション	中村	配布資料	PT 201 OT 109
第7回 5/25	障がい者スポーツとボランティア 自分たちができる障がい者スポーツとボランティアを考えよう。 【キーワード】障がい者スポーツ、ボランティア	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第8回 6/1	まとめ	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
定期試験	実施しない			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	安藤 亨(非常勤)	解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、人体構造学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人体の構造を理解する。					
行動目標(SBO)	①神経系・感覚器系の構造を学ぶ。 ②呼吸器系・循環器系・消化器系の構造を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
解剖学は、医療職を志す者にとって基礎中の基礎といえる学問である。人の動きに直接関与する筋骨格系はもとより、動きを指令する神経系や動きを感知する感覚器系を十分熟知すること、動作を遂行するためのエネルギーの視点から呼吸器系・循環器系・消化器系などについても理解を深めることが求められる。解剖学Ⅰでは、このうち、神経系・感覚器系・呼吸器系・循環器系・消化器系について学ぶ。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
毎週、月曜日3限に開講						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/4	解剖学総論 定義・目的、人体の概要、解剖学用語、人体の構成	安藤		講堂
第2回 4/11	感覚器系 外皮、視覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器	安藤		講堂
第3回 4/18	神経系総論、末梢神経系① 神経系総論、脳神経	安藤		講堂
第4回 4/25	末梢神経系② 脳神経、自律神経	安藤		講堂
第5回 5/2	中枢神経系① 大脳	安藤		講堂
第6回 5/9	中枢神経系② 伝導路	安藤		講堂
第7回 5/16	中枢神経系③ 小脳、脳幹、脊髄	安藤		講堂
第8回 5/23	循環器系① 血管系:心臓、循環の分類	安藤		講堂
第9回 5/30	循環器系② 血管系:動脈系、静脈系、胎生期の循環系	安藤		講堂
第10回 6/6	循環器系③、他 リンパ系、理学・作業療法との関連、人体の発生	安藤		講堂
第11回 6/13	内臓学① 内臓器官の構造、消化器系	安藤		講堂
第12回 6/20	内臓学② 消化器系	安藤		講堂
第13回 6/27	内臓学③ 呼吸器系、内分泌系	安藤		講堂
第14回 7/4	内臓学④ 泌尿器系、生殖器系	安藤		講堂
第15回 7/11	感覚器系・循環器系・内臓学 第1回～第14回のまとめ	安藤		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学実習 I	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	宮下 正好	解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅱ、運動学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	四肢の主な「骨」「筋」の位置、名称、はたらきなどを覚える。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢の骨:骨名、主な部位名称を覚える。 2. 上肢の筋:主な筋の名称、起始・停止・作用・支配神経を覚える。 3. 下肢の骨:骨名、主な部位名称を覚える。 4. 下肢の筋:主な筋の名称、起始・停止・作用・支配神経を覚える。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は、「骨」と「筋」を模型を活用して学ぶ。「骨」「筋」は理学療法を行う上で必須の知識である。 ・「骨」は、形を観察しながら「骨名」「主な部位名称」を覚えていく。 ・「筋」は、位置や形を観察しながら「筋名」「骨のどこに付着しているか(起始・停止)」を覚えていく。あわせて、「筋のはたらき(作用)」を理解し、覚えていく。 						
教科書・参考書						
<p>【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版(医学書院) プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版(医学書院)</p> <p>【参考書】プロメテウス解剖学アトラス コアアトラス 第2版(医学書院)</p> <p>【参考アプリ】ヒューマン・アナトミー・アトラス2021:3Dによる完璧な人体(Visible Body)</p>						
受講時留意点、その他						
<ul style="list-style-type: none"> ・受講時の服装は長白衣着用とする。アクセサリ類は全て外すこと。 ・頭髪、爪は短く清潔にすること。女性は髪を束ねて顔にかからないようにすること。 ・はさみとセロテープを使用することがある。毎回持参すること。 ・骨模型は、ご遺体をモデルにして作成されたものである。丁寧に扱い、決して不敬な態度をとらないこと。 						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行い、60点以上を合格とする。				
小テスト	*	2回の「小テスト」を予定している。原則として成績評価に含めない。ただし、答案から明らかに学習不足が見てとれる、白紙提出等は減点の対象とする。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席・遅刻などは減点の対象とする。無礼な態度・不適切な身だしなみ・迷惑行為・授業中の飲食・授業中の携帯電話等の使用・授業に関するSNSへの公開・模型への不敬な態度等は減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月7日	骨の名称 骨模型に敬意をはらい、丁寧に扱う。骨の名称を覚える。 【KW】 上肢の骨・体幹の骨・下肢の骨	宮下	p37,38	骨模型 基礎医学実習室
第2回 4月14日	上肢の骨:上肢帯・自由上肢骨 上肢帯、自由上肢骨の部位名称を覚える 【KW】 肩甲骨・鎖骨・上腕骨	宮下	p68-72	骨模型 基礎医学実習室
第3回 4月19日	上肢の骨:自由上肢骨 前腕の骨の部位名称を覚える。手の骨の名称を覚える。【KW】 橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨	宮下	p72-77	骨模型 基礎医学実習室
補習1 4月22日	上肢の骨と関節 上肢の骨の復習。上肢の関節と運動の名称を覚える。 【KW】 肩関節・肘関節・前腕の関節・手関節・指の関節 等	宮下	p125-136	骨模型 基礎医学実習室
第4回 4月26日	上肢帯の筋 肩関節のまわりの筋を覚える。【KW】三角筋・棘上筋・棘下筋・小円筋・肩甲下筋・大円筋(予)肩甲骨・上腕骨の部位名称	宮下	p196-199	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第5回 5月12日	上腕の筋 上腕の筋を覚える。【KW】上腕二頭筋・上腕筋・烏口腕筋・上腕三頭筋・肘筋(予)肩甲骨・上腕骨・前腕の骨の部位名称	宮下	p199-200	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第6回 5月17日	前腕の屈筋群① 前腕浅層の屈筋を覚える。【KW】円回内筋・長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋(予)橈骨・尺骨の部位名称。手・指の骨。	宮下	p201-203	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第7回 5月24日	前腕の屈筋群② 前腕深層の屈筋を覚える。【KW】深指屈筋・浅指屈筋・長母指屈筋・方形回内筋(予)橈骨・尺骨の部位名称。手・指の骨。	宮下	p201-203	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第8回 5月31日	前腕の伸筋群① 前腕浅層の伸筋を覚える。【KW】腕橈骨筋・長橈側手根伸筋・総指伸筋 他(予)上腕骨・橈骨・尺骨の部位名称。	宮下	p203-206	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
補習2 6月3日	前腕の伸筋群② 前腕深層の伸筋を覚える。【KW】回外筋・長母指外転筋・長母指伸筋・短母指伸筋(予)上腕骨・橈骨・尺骨の部位名称。	宮下	p203-207	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
小テスト① 6月7日	上肢の骨・筋 第2回～第8回・補習2の内容で確認テストと解説を行う。	宮下		201
第9回 6月8日	下肢の骨:下肢帯・自由下肢骨 下肢帯、自由下肢骨の主な部位名称を覚える。【KW】 寛骨(腸骨・恥骨・坐骨)・大腿骨	宮下	p78-84	骨模型 基礎医学実習室
第10回 6月14日	下肢の骨:自由下肢骨 下腿の骨の主な部位名称を覚える。足の骨の名称を覚える。【KW】 脛骨・腓骨・足根骨・中足骨・趾骨	宮下	p85-92	骨模型 基礎医学実習室
第11回 6月23日	下肢帯の筋:内・外寛骨筋群 股関節のまわりの筋を覚える。【KW】腸腰筋・大殿筋・中殿筋・小殿筋・大腿筋膜張筋(予)寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	p211-213	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第12回 6月28日	下肢帯の筋:外寛骨筋群 股関節を外旋する筋を覚える。【KW】梨状筋・双子筋・内閉鎖筋・大腿方形筋 他(予)寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	p213-215	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第13回 7月7日	大腿の筋:内転筋群 股関節を内転する筋を覚える。【KW】恥骨筋・長内転筋・短内転筋・薄筋・大内転筋(予)寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	p217-218	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第14回 7月14日	大腿の筋:伸筋群・屈筋群 大腿前面、後面の筋を覚える。【KW】縫工筋・大腿四頭筋・ハムストリングス(予)大腿骨・脛骨・腓骨の部位名称	宮下	p215-219	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
第15回 7月21日	下腿の筋:伸筋群・腓骨筋群 下腿前面、外側の筋を覚える。【KW】前脛骨筋・長趾伸筋・長母趾伸筋・腓骨筋(予)脛骨・腓骨の部位名称	宮下	p219-221,223	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
補習3 7月21日	下腿の筋:屈筋群 下腿後面の筋を覚える。【KW】下腿三頭筋・後脛骨筋・長母趾屈筋・長趾屈筋(予)脛骨・腓骨の部位名称。足根骨の骨名。	宮下	p221-223	骨模型・筋模型 基礎医学実習室
小テスト② 7月25日	下肢の骨・筋 第9回～第15回・補習3の内容で確認テストと解説を行う。	宮下		201
定期試験	前期末試験	宮下		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	遠藤 雄三(非常勤)	解剖学 I、解剖学 II、病理学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人体の健常状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。					
行動目標(SBO)	植物機能系の理解・運動機能系の理解					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>成人のヒトは約45兆個の細胞の有機的な営みからなる。まず細胞のことを理解する必要があり、現代医学の基盤である細胞生物学について詳細に説明する。細胞の二つの特質である増殖と分化が細胞生物学の根幹である。多細胞系としての組織と循環系の第一の特徴は細胞相互の関係ならびに内部環境の恒常性(液性ホメオスタシスの概念)である。第二の特徴は生体防御能の細胞性ホメオスタシス(免疫系)である。これらの恒常性は、植物機能系により巧妙に調節されている。特に「負のフィードバック」による調節は内分泌系と自律神経系により維持されている。植物機能系を基盤にして動物機能系が人間としての営みをつかさどっている。さらにそのヒトのからだ(ボディ)はこころ(マインド)によって人間としての品格を維持している。からだは自動車の部品のように精巧にできている。しかしそれを動かし調節するものは健全なる精神あるいは意思である。生理学 I では、このうち主に動物機能系について学ぶ。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】系統看護学講座 専門基礎分野1 解剖生理学 人体の構造と機能[1](医学書院) 目で見るとからだのメカニズム 新訂版。(医学書院) 【そのほか】配布資料有り。</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期、毎週月曜日の1, 2限に開講する。授業時間内の退出は原則的に禁止。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。 復習は必須。授業に積極的に参加してください。質問歓迎。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/16	細胞生物学の基礎(1) 細胞とは。エネルギー代謝。細胞の増殖と分化。	遠藤		講堂
第2回 5/16	細胞生物学の基礎(2) 細胞相互間の関係。細胞と間質。内部環境。	遠藤		講堂
第3回 5/23	神経系(1)神経細胞のはたらき ニューロン。静止電位と活動電位。伝導。	遠藤		講堂
第4回 5/23	神経系(2)神経細胞のはたらき シナプス伝達。興奮性シナプス。抑制性シナプス。	遠藤		講堂
第5回 5/30	神経系(3)中枢神経 脊髄。脊髄反射。脳幹。小脳。	遠藤		講堂
第6回 5/30	神経系(4)中枢神経 間脳。大脳。脳の高次機能。	遠藤		講堂
第7回 6/6	神経系(5)末梢神経 脊髄神経。脳神経。自律神経。	遠藤		講堂
第8回 6/6	神経系(6)末梢神経 交感神経。副交感神経。	遠藤		講堂
第9回 6/13	筋骨格系(1)骨格 骨の機能と組成。骨の発生と成長。骨の生理的な機能。	遠藤		講堂
第10回 6/13	筋骨格系(2)筋 筋の種類と構造。骨格筋細胞の興奮から収縮。筋収縮のメカニズム。	遠藤		講堂
第11回 6/20	筋骨格系(3)筋 平滑筋の収縮。心筋の収縮。	遠藤		講堂
第12回 6/20	筋骨格系(4)運動の調節 錐体路と錐体外路。大脳基底核による調節。小脳による調節。	遠藤		講堂
第13回 6/27	感覚(1)総論、体性感覚 感覚の種類、性質。体性感覚の受容器。上行性伝導路。	遠藤		講堂
第14回 6/27	感覚(2)特殊感覚 視覚。視覚伝導路。平衡聴覚器。聴覚伝導路。	遠藤		講堂
第15回 7/4	感覚(3)特殊感覚 味覚器。嗅覚器。	遠藤		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーション概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	内田成男・菊池和也	すべての専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	担当教員:理学療法士 総合病院等に長期間勤務し、リハビリテーション医療を実践してきました。リハビリテーションの概念とそのプロセスについて、専門的立場から授業を展開していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	現代の医療・福祉・その他の関連領域におけるリハビリテーションを理解する					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療関連職種の基本を身につける 2. リハビリテーションの語源・歴史・定義を理解する 3. 障害分類を理解する 4. リハビリテーションの領域、進め方を理解する 5. 障害受容の心理過程を理解する 6. 関連法規・倫理を知る 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業はリハビリテーションの基礎となる概念、考え方、障害などを学習する科目です。重要な科目ですので集中して授業に参加してください。また、講義に加えてグループワーク、演習、討論、プレゼンテーションなども実施することがあります。積極的に意見を述べる、人の意見を聞くことは理学療法士、作業療法士など医療職には不可欠ですのでグループワーク等では積極的な参加をしてください。両学科が交流して学べる時間を設定します。						
教科書・参考書						
教科書:①医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第4版 (永井書店) ②国際生活機能分類 ー国際障害分類改訂版ー (中央法規)						
受講時留意点、その他						
この授業は医療の現場で勤務していることを想定して行いますので医療人としての身嗜み等にも注意して受講してください。教務部オリエンテーションで配布した受講の手引きp3~4の医療人としての身嗜みを遵守してください。教科書、配布資料は必ず読んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期期末試験を実施する。				
小テスト		授業の進捗状況により、重要事項の確認テストを実施する。(成績評価には含めない)				
レポート		課題レポートの提出を検討している。(成績評価には含めない)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		医療人としての節度ある態度で授業に臨んでください。				
(合計)						

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月6日	コースオリエンテーション・医療専門職種の基本 KW:ルールとマナー、接遇、感染対策	内田 菊池先生		配布資料 201
第2回 4月13日	医学概論:医学の歴史 KW:古代、中世、現代	菊池先生		配布資料 201
第3回 4月20日	リハビリテーションの歴史と理念 KW:全人間的復権、自立生活運動、ノーマライゼーション	菊池先生	①p1~17	201
第4回 4月27日	健康と障害の概念1:障害の表記 KW:障害、障碍、障がい	菊池先生		配布資料 201
第5回 5月11日	健康と障害の概念2:国際疾病分類と国際障害分類(ICIDH) KW:機能障害、能力低下、社会的不利	内田	①p19~23	201
第6回 5月18日	健康と障害の概念3:国際生活機能分類(ICF)の基本 KW:ICFの背景、健康領域・健康関連領域、構成要素	内田	①p23~26、 ②3~10	201
第7回 5月25日	健康と障害の概念4:国際生活機能分類の構造 KW:構成要素の定義、相互作用	内田	①p23~26、 ②11~23	201
第8回 6月1日	健康と障害の概念5:国際生活機能分類の評価方法 KW:評価分類、評価点	内田	②p27~200	201
第9回 6月8日	健康と障害の概念6:国際生活機能分類の応用 KW:コード化、事例応用	内田	②p203~ 243	201
第10回 6月15日	障害心理と障害受容:障害受容の心理的過程 KW:精神的問題、障害、心理的適応過程	内田	①p35~50	201
第11回 6月22日	リハビリテーションの過程 KW:評価、ゴール設定、プログラム	内田	①p67~78	201
第12回 6月29日	リハビリテーションの諸段階、領域 KW:医学的、社会的、教育的、職業的、地域リハビリテーション	内田	①p79~96	201
第13回 7月6日	医療とリハビリテーション専門職 KW:インフォームド・コンセント、インシデント、個人情報、専門職	内田	①p97~113	201
第14回 7月13日	チームアプローチ KW:チーム医療、評価会議、ゴール設定、診療記録	内田	①p115~ 127	201
第15回 7月20日	関連法規 KW:理学療法士・作業療法士法、医療法、医療保険、診療報酬、介護保険、倫理規定	内田	①p189~ 225	配布資料 201
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	チーム医療論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	長田美紀、中村毎途	コミュニケーション論、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士／作業療法士を始め、外部講師による講義を予定しています。医療施設での各職種の実務経験を基に、チーム医療の必要性、各職種の専門性を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	医療現場の様々な職種の役割を理解し、チーム医療を学ぶ。					
行動目標 (SBO)	1. チーム医療の必要性、現状を学ぶ。 2. チーム医療に関わる職種の専門性、役割、業務を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医療現場は、立場も専門も異なる多くの人が働く場所です。家族・患者さんにとって最適の医療を効率的に提供するためには、職種間協働に基づく、「チーム医療」が必要とされています。この科目では「チーム医療」の現状から、理学療法士と関わる、様々な職種の専門性、役割、業務を学びます。チームの一員として、理学療法士が行う役割、業務についても理解を深めてください。						
教科書・参考書						
参考書 : ①水本 清久 他 : 実践チーム医療論 実践と教育プログラム, 医歯薬出版, 2011 ②内山靖,藤井浩美,立石雅子 編 コミュニケーション論・多職種連携論 医歯薬出版 2021						
受講時留意点、その他						
チーム医療には適切な意思疎通・コミュニケーションが不可欠です。 授業中は人の話を聞くときに適した姿勢や態度をとるようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各授業に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する。 提出期限はその都度提示する。提出が遅れた場合、受け付けない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加（発言、反応など）を行動観察で評価する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月30日	チーム医療とは 【KW】リハビリテーション医学・チーム医療	長田	配布資料	201
第2回 6月6日	医療における職種の理解と他職種連携 - 医師 - 【KW】職種理解、治療計画、カンファレンス	外部講師	配布資料	講堂
第3回 6月13日	医療における職種の理解と他職種連携 - 看護師 - 【KW】ADL援助、精神的サポート、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第4回 6月20日	医療における職種の理解と他職種連携 - 言語聴覚士 - 【KW】言語・嚥下訓練、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第5回 6月27日	医療における職種の理解と他職種連携 - MSW - 【KW】退院援助、社会復帰援助、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第6回 7月7日	医療における職種の理解と他職種連携 - 義肢装具士 - 【KW】装具療法・義肢装具作成調整、連携	外部講師	配布資料	講堂
第7回 7月11日	医療における職種の理解と他職種連携 - 理学療法士 / 作業療法士 - 【KW】運動療法、ADL、QOL	中村	配布資料	201
第8回 7月22日	まとめ 【KW】各専門職の役割、チーム医療	長田	配布資料	201
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	社会福祉概論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	中村毎途	リハビリテーション概論・チーム医療論・関連法規				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。 医療・介護・福祉の現場での経験を基に、リハビリテーションと社会福祉の関りについて講義します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	国民の生活支援や人権に関わる社会保障制度や社会福祉を理解する					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の背景を説明できる。 2. 社会保障制度の種類と仕組みを説明できる。 3. 障害の捉え方・障害者の人権について説明できる。 4. 子どもと高齢者に関わる福祉について説明できる。 5. リハ専門職種として関わる制度について説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>超高齢社会となり、社会保障制度の在り方が問われている現代において、その背景や種類と仕組み、障害者の人権問題など理解する必要があります。障害のある人がその人らしく生活が送れるよう支援するためには、社会自体が受け入れる環境をつくることも大切であり、そのひとつが社会保障や社会福祉であります。社会福祉の制度は当事者が必要性を訴えることで作られており、どんな社会を目指すことが大切なのか、対象者を支援する我々専門職が一緒になって考えていく必要があります。</p> <p>授業は各回ごとに授業目標を提示し、その内容について講義します。授業の中ではポイントを提示しますので、振り返り学習は授業目標とポイントに沿って行って下さい。</p>						
教科書・参考書						
教科書: 指定教科書なし 参考書: 系統看護学講座 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ 医学書院 コメディカルのための社会福祉概論 第4版 講談社 その他: 配布資料あり						
受講時留意点、その他						
授業の中では厚生労働省等から公開されている資料も使用します。配布資料に出典先のURL等を合わせて提示しますので参考にして下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月7日	コースオリエンテーション・社会保障とは 社会保障の定義・日本国憲法との関連、リハビリテーションと社会保障 【KW】社会保障・憲法・リハビリテーション	中村	配布資料	201
第2回 4月14日	ライフサイクルと社会保障制度 ライフサイクルを通して、障害者自身・家族が困ることを想像する 【KW】社会生活におけるニーズ・障害者や家族のニーズ	中村	配布資料	201
第3回 4月21日	社会保障制度に影響を与える要因 4つの要因から社会保障制度との関連性を学ぶ 【KW】少子高齢化・世帯数・経済成長・多様化	中村	配布資料	201
第4回 4月28日	障害と人権 障害観、障害者の人権について 【KW】障害観・障害者の権利擁護・障害者権利条約	中村	配布資料	201
第5回 5月12日	障害者権利条約を批准するまでの過程と法の整備 日本が障害者権利条約に批准するまでの過程を学ぶ 【KW】障害者権利条約・障害者基本法・障害者差別解消法	中村	配布資料	201
第6回 6月9日	高齢者と福祉 高齢者を取り巻く状況を理解する 【KW】介護保険制度・超高齢社会・高齢者	中村	配布資料	201
第7回 6月16日	子どもと福祉 子どもに関わる法制度と社会制度用を理解する 【KW】少子化対策・児童福祉・子育て支援	中村	配布資料	201
第8回 6月22日	リハ専門職が関わる制度 PT・OTを提供することでの報酬を規定する制度について理解する 【KW】医療保険・障害者総合支援法	中村	配布資料	201
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則/白井英彬	運動学 I・II、解剖学実習 I・II、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基礎的知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法を理解するのに必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	運動を学ぶ：骨・関節・筋の基本構造と機能、障害と基本的な理学療法を学ぶ。 理学療法の基礎を学ぶ：検査法、理学療法の定義・倫理観を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目は、皆さんが初めて学ぶ専門科目です。</p> <p>理学療法は、基本的な動作の回復を目標として行われます。前半はヒトの動作を実行するには、直接はたらく「骨・関節・筋」、それらに指令をあたえる「神経」、そして、身体活動のエネルギーを生み出す「呼吸・循環・代謝」の働きが不可欠です。この授業では、そのうち「骨・関節・筋」の基礎を学んでいきます。後半は理学療法に必要な現場での知識、代表的な疾患や移動について学びます。</p> <p>授業中に提示された重要項目・最重要項目は必ずその日のうちに復習を実施して下さい。患者さんのために必要は力は、日頃の積み重ねによって作られます。復習が上手くできない、理解が進まない、という人には早めに相談して下さい。補習等に応じます。</p>						
教科書・参考書						
教科書：なし。授業ごとに資料を配布						
受講時留意点、その他						
健康管理をしっかり行い、休まずに受講しましょう。身だしなみを整え、礼儀正しく受講しましょう。 予定・日程を変更する場合、掲示板またはデスクネットでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。100点満点で60点以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加、科目に対する興味・関心が良好 等は加点の対象とする場合があります。 無礼な態度、不適切な身だしなみ、受講中の居眠り、迷惑行為(受講中の私語、飲食、携帯電話の使用 等)、SNS等への授業についての公開 など 減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6	身体を表現する基本用語: 身体の部位、姿勢など表す専門用語を学ぶ。予習として「解剖学的立位姿勢」を検索してみよう。 【KW】四肢・体幹・基本肢位・方位・姿勢 等 *	植田	配布資料	201
第2回 4/12	骨・関節の構造と機能: 骨・関節の基本構造、関節運動の表現を学ぶ。予習として「関節の運動方向」を検索してみよう。 【KW】骨の構造・骨の役割・関節の構造・関節運動 等	植田	配布資料	201
第3回 4/20	骨格筋の構造と機能: 骨格筋の構造と筋収縮のしくみを学ぶ。予習として「等尺性収縮・等張性収縮」を検索してみよう。 【KW】筋組織・筋の構造・筋の収縮機序・収縮様式 等	植田	配布資料	201
第4回 5/6	筋力 (musclar strength): 筋力の概念を学ぶ。予習として「第1のテコ」を検索してみよう。 【KW】筋力を決める因子・モーメント・徒手筋力検査 等	植田	配布資料	201
第5回 5/6	関節可動域 (ROM): 関節の可動性を学ぶ。予習として「ゴニオメーター」を検索してみよう。 【KW】関節の形状・参考可動域・関節可動域検査 等	植田	配布資料	201
第6回 5/11	関節と理学療法: 関節可動域制限に対する基礎的な理学療法を学ぶ。予習として「熱の伝達」を検索してみよう。 【KW】関節可動域運動・温熱療法 等	植田	配布資料	201
第7回 5/20	運動器の基礎; 復習 I 骨・関節・筋 の基礎事項について復習する。	植田	配布資料	201
第8回 5/27	歩行の観察: 歩行の概要と異常歩行を学ぶ。予習として「歩行周期」を検索してみよう。 【KW】重心・10M歩行スピード・異常歩行	植田	配布資料	201
第9回 6/3	ADLを支援する機器: 杖歩行の方法、杖の効果を学ぶ。予習として「歩行補助具」を検索してみよう。 【KW】T杖・松葉杖・調整方法・股関節にかかる力 等	植田	配布資料	201
第10回 6/9	車椅子の基礎知識 車椅子の部位名称、操作方法、管理方法を学ぶ。 【KW】車椅子、ティッピングレバー、空気圧	植田	配布資料	201
第11回 6/23	運動器疾患の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。予習として「退行性変化」を検索してみよう。 【KW】骨折・変形性関節症・人工関節等	植田	配布資料	201
第12回 6/30	脳血管障害の基礎知識: 理学療法の対象となる代表的な疾患を学ぶ。予習として「痙性」を検索してみよう。 【KW】片麻痺・脳卒中等	白井	配布資料	201
第13回 7/7	理学療法の定義: 理学療法士の業務、理学療法の法的定義を学ぶ。予習として「基本的動作」を検索してみよう。 【KW】直接業務・間接業務・法的定義・欠格事由 等	植田	配布資料	201
第14回 7/14	理学療法の倫理: 理学療法士に必要な要素を学ぶ。予習として「医療事故」のニュースを検索してみよう。 【KW】倫理観・個人情報保護 等	植田	配布資料	201
第15回 7/19	運動器と理学療法; 復習 II 骨・関節・筋に対する理学療法と対象疾患を復習する。	植田	配布資料	201
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法実習 I	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	基礎理学療法 I、リハビリテーション概論、機能診断学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基本的な技術を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法学生としての好ましい態度を身につける。 患者に適切な礼節で対応できる。					
行動目標(SBO)	①障がい者の気持ちを体験し、表現できる。 ②骨・関節・筋の基本構造と機能と基本的な理学療法を学ぶ。 ③患者に対して挨拶、自己紹介等ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業は、皆さんが初めて学ぶ実技科目です。実技科目ですが、「対象者への接し方」を身につけることを主な目標とします。患者さんに接するには、技術の前に「態度」が大切です。どのような態度が求められるのか？皆さんはまだ分からないので、実技授業の中で身につけていきましょう。また、理学療法士が使用する機器の扱い方を知り、大事に取り扱うよう心掛けて下さい。</p> <p>後半には技術面を習得する内容になります。授業中は、説明をしっかりと聴いて、より多くのクラスメイトと練習を繰り返しましょう。実技上達のためには、「繰り返す」「より多くの被験者に触る」が秘訣です。週2～3回は必ず、放課後に実習室を利用して練習するように心がけましょう。実技の練習は一人ではできないので、友人と声をかけあい、協力して練習しましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書:なし。必要に応じ、資料を配布						
受講時留意点、その他						
<p>体調管理をしっかりとって、休まずに受講しましょう。人に触れるので、感染症予防対策をとらなければなりません。また、医療を学ぶ学生として重要なことです。初回に手洗い、消毒方法、清潔について学習しますので、以後徹底できるように真剣に臨み早期に習慣化させましょう。</p> <p>Tシャツ、ジャージで動きやすい服装で受講して下さい。Tシャツ、ジャージは落ち着いた色のものを着用。スウェット生地は禁止。</p> <p>靴下は踝が隠れる白物とする。実習靴は白とする。爪は短く、髪は眉や耳にかからないようにしましょう。実習前後には必ず手を洗い、みだりに頭髪を触らないなど清潔に心がけましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	10	第3回レポート作成を評価する。評価基準は①提出期限を遵守できる②レポート規定を遵守できる③誤字脱字がない。以上3点となる。				
実技試験	50	患者対応、トランスファーを実施する。詳細な採点基準については実技試験2週間前に提示				
プレゼンテーション						
その他	40	授業態度、身だしなみ、教科書・教材の携帯状況、グループでの活動状況、授業まとめの記載状況から判断する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/8	オリエンテーション・感染予防・理学療法士が使用する機器 手洗い、消毒方法を学ぶ。機能訓練室にある機器の特徴を学ぶ。 【KW】平行棒、ティルトテーブル、プラットフォーム、重錘	植田		機能訓練室
第2回 4/15	<u>障がい体験①:</u> 手足に障害を持った状態を疑似体験する。 【KW】車椅子・歩行・杖	植田		機能訓練室
第3回 4/22	<u>障がい体験②:グループディスカッション</u> 体験についてグループで話し合い、発表する。 【KW】ディスカッション・デモンストレーション・発表	植田		機能訓練室
第4回 4/26	<u>障がい体験③:レポート作成実習</u> 第3・4回の内容でレポートを作成し、作成のルールを覚える。 【KW】表紙・作成のルール・参考文献	植田		201
第5回 5/12	<u>関節運動の面と種類</u> 関節を動かし、運動の種類、面、軸を言えるようにする。 【KW】関節運動・基本面・運動軸	植田		機能訓練室
第6回 5/20	<u>筋の収縮様式</u> 筋の収縮様式を区別できるようにする。 【KW】求心性収縮・遠心性収縮・等尺性収縮 等	植田		機能訓練室
第7回 5/27	<u>関節可動域(ROM) 1</u> 症例の挨拶・説明・同意を得る方法、角度計の使用方法を学ぶ。 【KW】導入、説明と同意、角度計	植田		機能訓練室
第8回 6/3	<u>関節可動域(ROM) 2</u> ROM測定を体験し、上肢の関節の参考可動域を覚える。 【KW】肩・肘・手・参考可動域	植田		機能訓練室
第9回 6/10	<u>徒手筋力検査(MMT)</u> MMTを体験し、抗重力位、除重力位を覚える。 【KW】肩・肘・手・	植田		機能訓練室
第10回 6/16	<u>歩行速度測定</u> 10M歩行スピードの測定方法を覚える。 【KW】歩行周期、条件設定、測定	植田		機能訓練室
第11回 6/24	<u>杖の調節・車椅子体験</u> 杖の使い方、調整方法を学ぶ。 【KW】杖・歩行	植田		機能訓練室
第12回 6/30	<u>車椅子体験</u> 杖の使い方、調整方法を学ぶ。車椅子の部位、使用方法を学ぶ。 【KW】車椅子・駆動方法・整備	植田		機能訓練室
第13回 7/1	<u>動作介助1:動作介助の基本</u> 人間の 【キーワード】起立・着座動作、重心移動	植田		機能訓練室
第14回 7/8	<u>動作介助2:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
第15回 7/15	<u>動作介助3:トランスファー</u> 【キーワード】車椅子、移乗方法、介助	植田		機能訓練室
定期試験 7/22	実技試験を実施する。課題は患者対応、トランスファー	植田		機能訓練室 治療室

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	スポーツ科学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩龍士、大沼賢洋	解剖学・解剖学実習・運動学・整形外科学・身体障害OT学・整形外科OT学・ボランティア活動論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業はスポーツ認定理学療法士（JSPO公認アスレティックトレーナー、JPSA公認障がい者スポーツトレーナー、JPSA公認中・上級障がい者スポーツ指導員）が担当します。医療施設やスポーツ場面、レクリエーションでの実務経験を基に、スポーツを行う人への指導やケア方法を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	スポーツにおける動作の特徴、外傷障害、応急処置、テーピングについて理解する。 障がい者スポーツについて理解を深める					
行動目標 (SBO)	1 スポーツ基本動作について知る。 2 スポーツ外傷障害の特徴を踏まえ、テーピング・バンデージの知識・技術を身につける。 3 コンディショニングについて実践できるようにする。 4 障がい者スポーツについて知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>スポーツは、競技レベルから一般愛好家レベルまで幅広く行われている活動です。どの競技レベルにおいても、スポーツにおける外傷・障害は、予防することが第一となります。本講義では、スポーツに関連の深い障害外傷のメカニズムを理解し、安全管理、応急処置、トレーニング方法、テーピング技術を学びます。また、障がい者スポーツについて理解を深め、PTOTとしてのサポート活動に発展するきっかけとして欲しいです。</p> <p>なお、本講義は、障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員養成必須カリキュラム11時間（全18時間）を含んでいます</p>						
教科書・参考書						
【教科書】「障がい者スポーツ指導教本」1年次購入済み						
【参考図書】 基礎運動学第6版、整形外科に関する書籍、テーピングに関する書籍、スポーツ外傷障害に関する書籍 障がい者スポーツ大会 規則集1000円						
受講時留意点、その他						
各講義において実習ができる服装で参加すること。テーピングなど物品の取り扱いを丁寧にすること。 初級指導員認定申請には、全受講が必須となります。欠席遅刻のないように注意して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60	障がい者スポーツに関わる内容で、授業内で用いる視聴覚教材のまとめを作成し、授業終了時に提出。				
実技試験	40	足関節のテーピングもしくはバンデージの技術に関して、制限時間、手法、仕上がりの面で採点する。				
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	コースオリエンテーション・スポーツ基本動作について 本講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、6つスポーツの基本動作について理解する。【キーワード】スポーツ基本動作・特徴	赤岩	テキスト I章	講堂
第2回 4/15	安全管理（スポーツ傷害外傷について） スポーツ傷害・外傷および応急処置について理解する。 【キーワード】スポーツ傷害外傷・応急処置・	赤岩	テキスト I、III章	講堂
第3回 4/22	足関節捻挫のメカニズム 足関節の構造と捻挫を生じるメカニズムについて理解する。 【キーワード】足関節・靭帯・検査方法	赤岩	資料	講堂
第4回 4/30	テーピング① 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第5回 5/13	テーピング② 足関節捻挫 足関節捻挫のバンデージをできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第6回 5/20	テーピング③ 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第7回 5/23	テーピング④ 膝関節に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】膝関節・ACL損傷・テーピング	赤岩	資料	講堂
第8回 6/3	テーピング⑤ 膝関節に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】膝関節・MCL損傷・テーピング	赤岩	資料	講堂
第9回 6/7	障がい者福祉政策と障がい者スポーツ 障害者福祉政策におけるスポーツについて知る。 【キーワード】福祉政策・障がい者スポーツ・ノーマライゼーション	赤岩	テキスト I、III章	講堂
第10回 6/17	障がい者スポーツの意義と理念① 障害者スポーツやパラリンピックについて知る。 【キーワード】アダプテッドスポーツ・障がい者スポーツ・パラリンピック	赤岩	テキスト III章	講堂
第11回 7/1	障がい者スポーツの理念②と障がい者スポーツ指導員制度 日本障がい者スポーツ協会の取り組みと指導者育成制度について 【キーワード】障がい者スポーツの理念、指導者制度、取り組み	赤岩	テキスト III章	講堂
第12回 6/25	全国障がい者スポーツ大会の概要 全国障がい者スポーツ大会の障がいの区分、指導法について 【キーワード】障がい者スポーツ大会、障害区分、競技指導	赤岩	テキスト VII章	講堂
第13回 7/13	障がいの理解とスポーツ 障害の分類とスポーツレクリエーション 【キーワード】障害分類・レクリエーション・指導上の留意点	赤岩	テキスト VI章	講堂
第14回 7/15	障がい者スポーツ体験① 障害に応じたスポーツの工夫 車椅子競技など体験を通し理解を深める。 【キーワード】車椅子操作・スローム走行・車いす競技	赤岩	テキスト VI、VII章	講堂
第15回 7/22	障がい者スポーツ体験② 障害に応じたスポーツの工夫 各種障がい者スポーツを体験を通し、各種競技の特性を知る。 【キーワード】ポッチャ・ゴールボール	赤岩	テキスト VI、VII章	講堂
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	運動学Ⅰ・解剖学Ⅰ、Ⅱ・生理学Ⅰ、Ⅱ・基礎PT学・基礎OT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実際の臨床現場への知識技術の導入の例を解説します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法の基礎知識として身体運動のメカニズムについて理解する。 人間の運動・動作・行為について運動学的思考ができるようにする。					
行動目標(SBO)	1)姿勢・運動・動作・行為を観察し、運動学的な表現と分析ができる。 2)基本動作(寝返り、立ち上がり)の本質を理解し、歩行および上肢運動の特徴をとらえ、観察・分析することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
運動学Ⅱは、運動学Ⅰで学んだ身体運動に関わる身体構造とそのメカニズムの応用編として、姿勢や運動の意味を理解し、その観察方法や解釈の仕方を学びます。これは、理学療法や作業療法の治療理論の重要な基礎となります。実際の臨床現場への知識技術の導入の例を挙げながら説明していきます。						
教科書・参考書						
教科書:PT・OTのための運動学テキスト第1版補訂版 参考書:①中村隆一・他:基礎運動学(第6版・補訂),医歯薬出版,2012。②D. A. Neumann著,嶋田・他訳:筋骨格系のキネシオロジー,医歯薬出版,③Jacquelin Perry 原著:ペリー歩行分析(原著第2版),医歯薬出版,2012。 <その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する>						
受講時留意点、その他						
・実際の身体運動を行うためTシャツ、膝の見えるハーフパンツを各自準備してください。 ・学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネッツなどでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60%以上を合格の目安とし、至らない場合、再試験を1回行う。				
小テスト						
レポート	0	必要に応じ課題を提示します。原則として成績評価には含めませんが、著しく不良なレポートは、減点の対象となる場合もあります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	イントロダクション・姿勢1 姿勢の基礎運動学 【キーワード】姿勢制御・システム理論・相互作用	市村真樹	P283～ 配布資料	202
第2回 4月7日	姿勢2 姿勢の観察と支持基底 【キーワード】生理的前彎・脊柱の靭帯・重心・支持基底	市村真樹	P343～ 配布資料	202
第3回 4月14日	姿勢3 異常姿勢と姿勢反応 【キーワード】片麻痺の異常姿勢・パーキンソン病の異常姿勢・ALSの異常姿勢	市村真樹	P343～ 配布資料	202
第4回 4月18日	寝返り1 寝返り動作の観察 【キーワード】運動・動作・行為・動作分析・工程分析	市村真樹	P464～ 配布資料	202
第5回 4月28日	寝返り2 寝返り動作の解釈・立ち上がり1 立ち上がり動作の観察 【キーワード】関節運動的視点・筋活動	市村真樹	P480～ 配布資料	202
第6回 5月11日	立ち上がり2 立ち上がり動作の解釈 【キーワード】重心・支持基底・位置エネルギー・運動エネルギー	市村真樹	P480～ 配布資料	202
第7回 5月18日	運動学習1 運動学習の定義 【キーワード】学習・記憶・運動技能・フィードバック・KR・PK	市村真樹	P63～ 配布資料	202
第8回 5月26日	運動学習2 運動学習の実際 【キーワード】練習課題・学習曲線・動機づけ・転移	市村真樹	P63～ 配布資料	202
第9回 6月2日	歩行1 歩行の基礎運動学 【キーワード】健常歩行・歩行周期・歩行の条件	市村真樹	P367～ 配布資料	202
第10回 6月9日	歩行2 健常歩行の観察 【キーワード】IC・LR・Mst・Tst・Psw・Isw・Tsw	市村真樹	P367～ 配布資料	202
第11回 6月20日	歩行3 健常歩行の解釈 【キーワード】パッセンジャー・ロコモーター・ロッカーファンクション・骨盤の三次元的運動	市村真樹	P367～ 配布資料	202
第12回 6月27日	歩行4 異常歩行の解釈 【キーワード】反張膝・ぶんまわし等	市村真樹	P367～ 配布資料	202
第13回 7月4日	上肢の動作1 上肢動作の基礎運動学 【キーワード】各関節の役割と組織化・関節運動の観察・運動制御	市村真樹	配布資料	202
第14回 7月14日	上肢の動作2 上肢動作の解釈 【キーワード】リーチと把持の協調・上肢の役割と意味・工程分析	市村真樹	配布資料	202
第15回 7月21日	まとめ	市村真樹	配布資料	202
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	鈴木 淳(非常勤)	解剖学 I、生理学 II、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	内科学における症候学、診断、治療を理解する					
行動目標(SBO)	血液・造血器疾患、代謝性疾患、内分泌系疾患、腎・泌尿器系疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医学の中心的学問である。内科学における症候学、診断、治療を理解するとともに、リハビリテーション専門職として理学・作業療法の実践やリスク管理に必要な知識を習得する。内科学の思考過程を理解するとともにリハビリテーション学との関連性について理解する。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版。(医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、毎週金曜日の3時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	血液・造血器疾患①	鈴木		講堂
第2回 4/15	血液・造血器疾患②	鈴木		講堂
第3回 4/22	感染症疾患①	鈴木		講堂
第4回 5/6	感染症疾患②	鈴木		講堂
第5回 5/13	代謝性疾患①	鈴木		講堂
第6回 5/20	代謝性疾患②	鈴木		講堂
第7回 6/3	内分泌系疾患①	鈴木		講堂
第8回 6/10	内分泌系疾患②	鈴木		講堂
第9回 6/17	腎・泌尿器疾患①	鈴木		講堂
第10回 6/24	腎・泌尿器疾患①	鈴木		講堂
第11回 7/1	RA	鈴木		講堂
第12回 7/8	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全①	鈴木		講堂
第13回 7/15	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全②	鈴木		講堂
第14回 7/22	中毒および環境要因による疾患・皮膚疾患	鈴木		講堂
第15回	内科疾患とリハビリテーション、第1回～第14回の復習 等	専任教員		講堂
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	神経内科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	井上 聖啓(非常勤) 内田 成男	解剖学Ⅱ、生理学、脳神経外科学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。 第1回・第14回・第15回は内田学校長(理学療法士)が担当します。医療機関での理学療法の経験を基に、リハビリテーションと関連の深い部分について授業します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	神経症候および主な神経疾患の病態と診断、治療について理解を深め、対象疾患に対する評価法と基本的なリハビリテーション治療への理解を深めることを目標としている。					
行動目標(SBO)	以下の事項を行動目標とする。 1) 神経系の機能解剖について説明できる。 2) 主な神経学的検査法を理解し、実践できる。 3) 主要な神経症候を理解し説明できる。 4) 主要な神経・筋疾患について理解する。 5) 主要な神経・筋疾患のリハについて考えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法(士)・作業療法(士)の対象疾患として、神経・筋疾患は重要な疾患群であり、適切な理学療法、作業療法を実践するためには、これらの疾患群に対する十分な知識が求められます。 理解を深めるためには、神経系、特に中枢神経系の機能解剖と主な疾患の関係性を踏まえて学習を進めてください。また、実際の症候がどのような意味を持つのかを考えながら、主要な神経疾患の特徴を把握できるようにしましょう。分からないことは積極的に質問できるようにしましょう。						
教科書・参考書						
【教科書】川平 和美(編): 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版, 医学書院, 2019 【参考図書】医療情報科学研究所: 病気がみえるvol7.脳・神経 第2版, メディックメディア, 2017						
受講時留意点、その他						
積極的な受講態度で授業に臨んでください。教科書を中心にしっかりと予習・復習をしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーションと中枢神経系の機能解剖 授業の目標と進め方について解説する。中枢神経系の機能解剖および可塑性について理解する。【キーワード】中枢神経系、伝導路、脳血管系、情報処理、可塑性	内田	p5-31	講堂
第2回 5/30 3限	神経学的診断法 : 神経学的診察と障害、画像診断、神経生理学的検査法などの要点を理解する。【キーワード】髄膜刺激症状、反射、協調運動、CTとMRIの特徴、神経伝導検査、筋電図、血液生化学検査など	井上	p35-66	講堂
第3回 5/30 4限	神経症候学① : 意識障害・脳死、頭痛・めまい・失神、運動麻痺、筋萎縮、錐体外路症候、不随意運動の概要を学ぶ。【キーワード】傾眠～昏睡、JCS・GCS、運動ニューロン障害、筋緊張(痙縮と固縮)・他	井上	p69-90	講堂
第4回 5/31 1限	神経症候学② : 運動失調、感覚障害および高次脳機能障害(失語症)の概要を学ぶ。【キーワード】運動失調(脊髄性、小脳性など)、特殊感覚、体性感覚(表在・深部)、失語症、他	井上	p91-113	講堂
第5回 5/31 2限	神経症候学③ : 高次脳機能障害(失認、失行、記憶)の概要を学ぶ。【キーワード】半側空間無視、身体失認、観念運動失行、観念失行など、運動維持困難、短期記憶、長期記憶、健忘など)	井上	p114-137	講堂
第6回 6/9 3限	神経症候学④ : 高次脳機能障害(注意、遂行機能)、構音障害、嚥下障害の概要を学ぶ。【キーワード】注意、遂行機能、構音障害、嚥下の相、球麻痺、仮性球麻痺など	井上	p138-158	講堂
第7回 6/9 4限	各論① : 脳血管障害の病態、分類、診断、医学的治療について学ぶ。【キーワード】NINDSⅢ分類、脳梗塞・脳出血、画像診断、急性期治療、rt-PA療法、外科的・保存的治療、合併症など	井上	p167-196	講堂
第8回 6/10 1限	各論② : 認知症、脳腫瘍の概要について学ぶ。 【キーワード】認知症鑑別診断、周辺症状、Alzheimer病、脳腫瘍の分類、主な脳腫瘍、	井上	p197-219	講堂
第9回 6/10 2限	各論③ 外傷性脳損傷、変性疾患、脱髄疾患について学ぶ。 【キーワード】急性と慢性硬膜下血腫、脳挫傷、びまん性軸索損傷、SCD、OPCA、MSA、多発性硬化症、ALS、多発性硬化症、他	井上	p220-225 p241-248	講堂
第10回 6/23 3限	各論④ 錐体外路の変性疾患(パーキンソン病)について学ぶ。 【キーワード】4大徴候、自律神経障害、Hoehn and Yahr重症度分類、薬物療法、症候性パーキンソニズム、他	井上	p249-261	講堂
第11回 6/23 4限	各論⑤ 主要な筋疾患について学ぶ。 【キーワード】筋ジストロフィー(特にDuchenn型)、重症筋無力症、多発性筋炎、他	井上	p274-286	講堂
第12回 6/24 1限	各論⑥ 感染性疾患、中毒・栄養欠乏による神経疾患について学ぶ。 【キーワード】髄膜炎、脳炎、クロイツフェルト・ヤコブ病、HAM、HIV、ポリオ、中毒性疾患、ウェルニッケ脳症、他	井上	p287-300	講堂
第13回 6/24 2限	各論⑦ 小児神経疾患: 脳性麻痺、二分脊椎、排尿障害等について学ぶ。【キーワード】脳性麻痺の原因、診断、分類、二分脊椎の主要症状、Down症、排尿のメカニズム、神経因性膀胱、他	井上	p301-320	講堂
第14回	確認と復習Ⅰ: 第1回～13回までの講義のまとめ・重要事項の確認、質疑応答を含めた総合討論。(まとめ)	内田		講堂
第15回	確認と復習Ⅱ: 第1回～13回までの講義のまとめ・重要事項の確認、質疑応答を含めた総合討論。(まとめ)	内田		講堂
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	福塚 邦太郎 (非常勤)	解剖学Ⅱ、整形外科学Ⅱ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	整形外科の概論、検査、治療法を学習する。					
行動目標(SBO)	検査法、治療法、炎症性疾患、代謝・内分泌疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
整形外科の概論を理解するとともに、検査(画像含む)、治療法(保存的、手術、薬物)等の概略を学習する。また、疾患ごとの各論を学び、臨床に即した知識の整理をする。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第4版。(医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、毎週水曜日4時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/6	整形外科基礎知識	福塚		講堂
第2回 4/13	運動器の評価および検査法	福塚		講堂
第3回 4/20	整形外科的治療法	福塚		講堂
第4回 4/27	炎症性疾患(感染・関節リウマチ等)	福塚		講堂
第5回 5/11	代謝・内分泌性疾患	福塚		講堂
第6回 5/18	退行性疾患(変形性関節症)	福塚		講堂
第7回 5/25	先天性骨・関節疾患・骨端症	福塚		講堂
第8回 6/1	循環障害と壊死性疾患	福塚		講堂
第9回 6/8	骨・軟部腫瘍	福塚		講堂
第10回 6/15	神経・筋疾患	福塚		講堂
第11回 6/22	脊椎の疾患①	福塚		講堂
第12回 6/29	脊椎の疾患②	福塚		講堂
第13回 7/6	脊髄損傷	福塚		講堂
第14回 7/13	切断および離断	福塚		講堂
第15回 7/20	総合演習	福塚		講堂
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	小児科学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	佐藤 博美(非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
	授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標(GIO)	理学療法および作業療法の臨床に必要な小児疾患の基礎知識を習得する。					
行動目標(SBO)	新生児・未熟児疾患、先天異常、神経疾患 ほか					
	この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
	理学および作業療法の臨床に必要な、小児の成長と発達、小児保健、新生児・未熟児・小児期の疾患に対する基礎知識を習得する。 授業方法は、教科書、配布資料を基にした講義、ワークを予定。					
	教科書・参考書					
	【教科書】標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第5版。(医学書院)					
	受講時留意点、その他					
	前期、木曜日 1限に開講します。					
	成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/7	小児科学概要・診断と治療の概要	佐藤		講堂
第2回 4/14	新生児・未熟児疾患	佐藤		講堂
第3回 4/28	先天異常と遺伝病	佐藤		講堂
第4回 5/12	神経疾患(1)	佐藤		講堂
第5回 5/26	神経疾患(2)	佐藤		講堂
第6回 6/2	神経疾患(3)、筋・骨疾患	佐藤		講堂
第7回 6/9	心身症・神経症・発達障害・重症心身障害児	佐藤		講堂
第8回 6/16	呼吸器疾患・循環器疾患	佐藤		講堂
第9回 6/23	感染症	佐藤		講堂
第10回 6/30	消化器疾患、内分泌・代謝疾患	佐藤		講堂
第11回 7/7	免疫・アレルギー疾患、膠原病、血液疾患	佐藤		講堂
第12回 7/14	腎・泌尿器・生殖器疾患、腫瘍性疾患、眼科・耳鼻科的疾患	佐藤		講堂
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	望月 美和	精神医学Ⅰ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	精神医学における症候学、診断、治療を理解する。					
行動目標(SBO)	脳器質性精神障害、統合失調症 ほか					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神医学における症候学、診断、治療を理解し、理学療法・作業療法との関連性の理解を深める。特に教科書の第1章～第9章までを学ぶ。						
教科書・参考書						
上野武治／編:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版. 医学書院						
受講時留意点、その他						
前期、木曜日3・4限に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/7	精神医学とは 精神障害の成因と分類	望月先生		講堂
第2回 4/7	精神機能の障害と精神症状 精神障害の診断と評価	望月先生		講堂
第3回 4/21	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第4回 4/21	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第5回 5/19	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第6回 5/19	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第7回 6/2	症候性精神障害	望月先生		講堂
第8回 6/2	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第9回 6/16	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第10回 6/16	てんかん	望月先生		講堂
第11回 7/7	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第12回 7/7	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第13回 7/21 2限	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第14回 7/21 3限	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第15回 7/21 4限	国家試験問題について	望月先生		講堂
定期試験				

2年生:(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、赤岩龍士、森梢	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価(特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査)の目的や評価の仕方を授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	四肢体幹における運動機能の基本的な検査・測定方法を理解する。					
行動目標(SBO)	①形態測定(肢長周径)の方法がわかる。 ②参考可動域を言える。関節可動域測定の方法がわかる。 ③教科書に準じた、徒手筋力検査法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について原則や方法について学びます。 ・運動機能評価学は、解剖学や運動学を基礎とし、対象者の身体状況を把握することが目標となりますが、治療計画立案や治療プログラムの見直し、予後予測に至るまで関連しています。 ・1年生の「機能診断学」とも関連が深いので、しっかり復習することを推奨します。 ・運動機能評価学実習と併行して行うので、実技を行いながら授業を行う場合もありますが、知識と技術を結びつけるように心がけましょう。 						
教科書・参考書						
教科書:理学療法評価学改訂第6版(金原出版)・新・徒手筋力検査法原著第10版(協同医書出版) 参考書:図解四肢と脊椎の診かた(医歯薬出版) 1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
動きを確認しながら行う場合があるので、動きやすい服装で参加すること。 メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	筆記試験。100点満点。60点を合格基準とする。 出題範囲 第1回～第15回の範囲				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	0	単元のまとめとして15分程度の演習問題を、全5回実施する。 ①第3回(下肢ROMt) ②第6回(下肢MMT)③第9回(上肢ROMt) ④第11回(上肢MMT) ⑤第13回(体幹MMT、体幹ROMt)				
(合計)	100					

2年生 : (R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/11	<u>ガイダンス</u> 理学療法における「評価」の位置づけを理解する。 <u>形態測定</u> 四肢長を測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p2~25	202
第2回 4/18	<u>関節可動域測定下肢①</u> 股関節、膝関節の測定方法を理解する。	大沼	理学療法 評価学第5 版p51,52	202
第3回 4/25	<u>関節可動域測定下肢②</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題①	大沼	理学療法 評価学第5 版p53	202
第4回 5/2	<u>MMT下肢①</u> 股関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第5回 5/9	<u>MMT下肢②</u> 膝関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第6回 5/16	<u>MMT下肢③</u> 足関節、足部の測定方法を理解する。 ※演習問題②	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第7回 5/23	<u>まとめ①</u> 下肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回 5/26	<u>関節可動域測定上肢①</u> 肩関節、肘関節、前腕の測定方法を 理解する。	大沼	理学療法 評価学第5 版p43~46	202
第9回 6/6	<u>関節可動域測定上肢②</u> 手関節、頸部、体幹の測定方法を理解す る。 ※演習問題③	大沼	理学療法 評価学第5 版p47,48	202
第10回 6/13	<u>MMT上肢①</u> 肩甲骨、肩関節の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第11回 6/20	<u>MMT上肢②</u> 肘関節、前腕、手関節の測定方法を理解する。 ※演習問題④	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第12回 6/22	<u>MMT頸部</u> 頸部の測定方法を理解する。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第13回 6/27	<u>MMT体幹</u> 体幹の測定方法を理解する。 ※演習問題⑤	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	202
第14回 7/4	<u>まとめ②</u> 上肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回 7/11	<u>まとめ③</u> 上肢・下肢の関節可動域測定とMMTの復習	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
定期試験				

2年生:(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動機能評価学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、赤岩龍士、森梢	解剖学・運動学・機能診断学・運動機能評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法評価(特に形態測定・関節可動域検査・筋力検査)の手技を習得できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基本的な検査・測定方法の手技を習得する。					
行動目標(SBO)	①医療人として求められる対人関係技能(コミュニケーション方法)を向上する。 ②四肢長及び周径をメジャー等を用いて正確に測定することができる。 ③ゴニオメーターを用い、関節可動域を正確に測定できる。 ④MMTを教科書に準じ、正確に実施することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>・本講義では、形態測定、関節可動域測定、筋力測定について実習を行います。理学療法を行う上で、検査測定は最も重要な技術といえ、患者さんがどのような状態にあるのか、どのような治療方法を選択するのか、治療が順調に進んでいるのかを把握するために正確かつ信頼性の高い技術を身に付けることが目標となります。</p> <p>・検査測定は、性別や体格の違いなど対象者の身体状況に合わせて実施するので、多くの学生間で練習し、授業時間内でより多くの経験を積むよう心がけましょう。測定方法だけでなく、自分自身の身体の使い方がうまくできない場合などは、放課後など授業時間外でも質問を受け付けます。</p> <p>・臨床実習Ⅱ、Ⅲで求められる中心的な要素であり、患者さんに対して実施することになりますので、より意識を高め、礼儀や振る舞いなど十分に意識して臨んでください。</p>						
教科書・参考書						
教科書:理学療法評価学改訂第6版(金原出版) ・ 新・徒手筋力検査法原著第10版(協同医書出版) 参考書:図解四肢と脊椎の診かた(医歯薬出版) ・1年生機能診断学で使用した配布資料						
受講時留意点、その他						
実技なので、爪を切り、手洗いを済ませて置くようにしてください。服装は動きやすい服装で参加すること。メジャー、ゴニオメーターは常に持参すること。感染予防対策は徹底して行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	行動観察:第13.14回、27.28回の講義で、実技の習熟度を確認する。 ⇒内容:第13.14回:下肢ROMt、下肢MMT各1項目、 27.28回:上肢ROMt、上肢MMT各1項目				
(合計)	100					

2年生:(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月11日	形態測定① 四肢長を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上肢長、下肢長、左右差	大沼	理学療法 評価学第5 版p28～35	治療室
第2回 4月11日	形態測定② 周径測定を測定、記録をすることができる。 【キーワード】上腕周径、大腿周径、左右差	大沼	理学療法 評価学第5 版p28～35	治療室
第3回 4月18日	関節可動域測定下肢① 股関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p53,54	治療室
第4回 4月18日	関節可動域測定下肢② 膝関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p54	治療室
第5回 4月25日	関節可動域測定下肢③ 足関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第6回 4月25日	関節可動域測定下肢④ 足部の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p55	治療室
第7回 5月2日	MMT下肢① 股関節屈曲の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第8回 5月2日	MMT下肢② 股関節伸展、縫工筋、外転の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第9回 5月9日	MMT下肢③ 大腿筋膜張筋、股関節内転、外内旋の測定、記録を することができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第10回 5月9日	MMT下肢④ 膝関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第11回 5月16日	MMT下肢⑤ 足関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第12回 5月16日	MMT下肢⑥ 足の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第13回 5月23日	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第14回 5月23日	総合評価技術練習 下肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第15回 5月30日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
第16回 5月30日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室

2年生:(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第17回 6月6日	関節可動域測定上肢① 肩関節の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p49, 50	治療室
第18回 6月6日	関節可動域測定上肢② 肘関節、前腕の測定、記録をすることができる。	大沼	理学療法 評価学第5 版p49,50	治療室
第19回 6月13日	関節可動域測定上肢③ 手関節の測定、記録をすることができる。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第20回 6月13日	関節可動域測定頸部体幹 頸部体幹の測定、記録をすることができる。	大沼	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第21回 6月20日	MMT上肢① 肩甲骨の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第22回 6月20日	MMT上肢② 肩関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第23回 6月22日	MMT上肢③ 肘関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第24回 6月22日	MMT上肢④ 前腕・手関節の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第25回 6月27日	MMT頸部 頸部の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第26回 6月27日	MMT体幹 体幹の測定、記録をすることができる。	赤岩	新・徒手筋 力検査法 第10版	治療室
第27回 7月4日	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼		治療室
第28回 7月4日	総合評価技術練習 上肢の関節可動域測定、MMTを復習する。	大沼		治療室
第29回 7月11日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
第30回 7月11日	まとめ 実技の確認	大沼 赤岩		治療室 機能訓練 室
定期試験	定期試験期間中の試験は実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載、長田美紀	基礎理学療法学、機能診断学、 中枢神経疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、神経疾患に対する理学療法評価学を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	ヒトの神経機能が理解できるようになるために、検査の意義と結果の解釈について知る。					
行動目標(SBO)	①感覚検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ②反射検査の意義が言え、結果を解釈できる。 ③筋緊張検査の意義が言え、結果を解釈できる。 ④片麻痺運動機能検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑤協調性検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑥バランス検査の意義が言え、結果の解釈が出来る。 ⑦脳神経検査の意義が言え、結果の解釈が出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目は、中枢神経ならびに末梢神経が障害を受けることに起因する症状に対し、その程度や状態を診るための検査・測定について深く学びます。 常に基礎知識を復習しながら、疾患や症状との関連性を考え、結果の解釈から治療に展開していく流れを理解できるようにしていきましょう。 予習、復習をしっかり行い、授業内での理解が深まるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書 神:『標準理学療法学 神経理学療法学』(医学書院) 病:『病気が見えるVol.7脳・神経』(メディックメディア) 評:『理学療法評価学 改訂第6版』(金原出版)						
受講時留意点、その他						
授業中は受け身にならず、自ら積極的に考えたり発言してください。 教科書は毎回、すべて持参ください。 この科目の受講をもって、旧カリ(H29-31カリキュラム)の「神経機能評価学」に読み替えます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト	*	2回実施予定。成績不良者は補習。				
レポート						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/5	オリエンテーション、神経基礎の復習 神経系ネットワークを解剖学的、生理学的に確認する。 【キーワード】 中枢神経系、上行性伝導路、下行性伝導路、	三田	機能診断学 授業資料	202
第2回 4/12	感覚を診る意義 感覚の分類と伝導路を理解する。 【キーワード】 感覚-知覚-認知、深部感覚、表在感覚	三田	神:102～、 131～	202
第3回 4/15	感覚の解釈 感覚の異常を理解する。 【キーワード】 感覚障害、感覚過敏	三田	神:240～ 評:145～	202
第4回 4/19	反射を診る意義 反射検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 反射弓、相反神経支配、皮質抑制	三田	評:124～ 神:118 病:190～	202
第5回 4/22	反射の解釈 反射検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 反射弓、相反神経支配、皮質抑制	三田	評:124～ 神:118 病:190～	202
第6回 4/26	筋緊張を診る意義 筋緊張検査によって解かる情報について理解する。 【キーワード】 α - γ 連関、錘内筋線維、錐体外路系相反抑制、	三田	評:131～ 配布資料	202
第7回 5/2	筋緊張の解釈 筋緊張検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 痙縮・固縮、共同運動・連合反応	三田	神:131 病:190～ 評:171～	202
第8回 5/10	運動麻痺を診る意義 片麻痺運動機能検査によって解かる情報を理解する。 【キーワード】 UMN・LMN、Brunnstrom stage test、筋の質的变化、	三田	神:131～ 病:173～ 評:151～	202
第9回 5/12	運動麻痺の解釈 片麻痺運動機能検査の結果を解釈し、運動の異常を理解する。 【キーワード】 運動麻痺、中枢性麻痺、錐体路兆候	三田	神:102 評:179～	202
第10回 5/17	バランス能力を診る意義 姿勢制御の仕方とその評価、異常について理解する。 【キーワード】 姿勢制御機構、反射起草理論、システム理論	三田	神:102～ 評:259～	202
第11回 5/24	バランス能力の解釈 姿勢制御の仕方とその評価、異常について理解する。 【キーワード】 姿勢制御機構、反射起草理論、システム理論	三田	神:389～	202
第12回 6/1	筋の協調性を診る意義と解釈 失調症状とその評価について理解する。 【キーワード】 小脳性失調、運動失調、運動学習	三田	神:140 評:251～	202
第13回 6/8	脳神経検査の意義と解釈① 第 I ～ XII 脳神経の障害を理解し、症状の説明が出来る。	片平	評:288～	202
第14回 6/18	脳神経検査の意義と解釈② 第 I ～ XII 脳神経の障害を理解し、症状の説明が出来る。	片平	評:288～	202
第15回 6/21	運動と感覚の統合的な解釈 神経障害における運動の異常と感覚の異常の関係性を理解する	三田	神:389～	202
	小テスト: 5/6、7/5			202
定期試験	前期末定期試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀、白井英彬	神経内科学、神経機能評価学 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に神経疾患に対する反射・筋緊張・感覚検査等の神経学的検査を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	神経学的検査が実施できるようになるために、神経学的検査の方法を身に付ける。					
行動目標(SBO)	①表在・深部感覚検査が実施できる ⑦脳神経検査が実施できる ②腱反射・病的反射が実施できる ⑧検査結果を記録することができる ④触診・被動性検査が実施できる ⑨検査結果について解釈することができる ⑤協調性検査が実施できる ⑩対象者の安楽と自身の立ち位置に配慮できる ⑥バランス検査が実施できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>実際に神経学的検査を実施していきます。検査結果の正確性を上げるために、多くの注意点が存在します。注意点を守れるようになるためには、正しい方法で沢山練習をするしかありません。学生同士で練習を行うと、その注意点がおざなりになります。担当教員に確認してもらうのが上達の早道です。</p>						
教科書・参考書						
教科書 潮見泰蔵, 下田信明著 リハビリテーション基礎評価学 第2版(羊土社) 参考書 田崎義昭, 斎藤佳雄著 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版(南山堂)						
受講時留意点、その他						
<p>服装は半袖、ハーフパンツとします。適切な身だしなみをして授業に臨んでください。 感染症予防習慣化のため、授業前に手洗いを実施し、実技相手が変わるごとに手指はアルコール消毒をしましょう。 衛生面に配慮(床に膝をつかない。床に物を置かないなど)しましょう。 実習中は患者に対して実施しているものと考え、真剣に取り組んで下さい。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	0					
小テスト	0					
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	100	反射検査、感覚検査がどの程度注意点を守って行えるようになったか実技確認します。 (第4回、第7回) 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・スマートフォンの使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	コースオリエンテーション、感覚検査(表在感覚) 表在感覚検査を実際に行う。 【キーワード】触覚、痛覚	白井	P177～194	講堂
第2回 4月11日	感覚検査(深部感覚・複合感覚) 深部感覚検査、複合感覚検査を実際に行う。 【キーワード】位置覚、運動覚	白井	P177～194	治療室
第3回 4月12日	感覚検査(症例・記載) 感覚障害から検査法を選択し実施する。結果を記録する。 【キーワード】半側障害、末梢神経障害、記載方法	白井	P177～194	治療室
第4回 4月19日	実技確認(感覚検査)	白井 長田		機能訓練室 治療室
第5回 4月26日	反射(腱反射) 深部腱反射を実際に行う。 【キーワード】上腕二頭筋反射、上腕三頭筋反射、腕橈骨筋反射 膝蓋腱反射、アキレス腱反射	白井	P203～212	治療室
第6回 5月10日	反射(表在反射・病的反射) 深部腱反射の増強法、病的反射を実際に行う。 【キーワード】ホフマン反射、トレンナー反射、バビンスキー反射	白井	P203～212	治療室
第7回 5月17日	反射(記載) 深部腱反射、病的反射を行い記録を取る。	白井	P203～212	治療室
第8回 5月24日	実技確認(反射検査)	白井 長田		機能訓練室 治療室
第9回 6月7日	筋緊張(触診と被動性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】触診、視診、被動性検査	長田	P213～217	治療室
第10回 6月14日	筋緊張(懸振性・筋硬直・伸展性検査) 筋緊張を実際に確認していく。 【キーワード】懸振性検査、筋硬直の検査、伸展性の検査	長田	P213～217	治療室
第11回 6月21日	感覚検査・反射検査・筋緊張検査 検査を一連の流れで行い、記録を取る。 【キーワード】表在・深部感覚、深部腱反射・被動性検査	白井	配布資料	治療室
第12回 6月27日	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行う。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	長田	配布資料	治療室
第13回 7月5日	片麻痺機能検査 Brunnstrom testを実際に行い、記録を取る。 【キーワード】共同運動、連合反応、分離運動	長田	配布資料	治療室
第14回 7月12日	バランス検査 バランス検査を実際に行う。 【キーワード】Romberg試験、座位・立位バランス、	長田	P279～306	治療室
第15回 7月19日	協調性検査・脳神経検査 協調性検査、第Ⅰ～Ⅶ脳神経検査を実際に行う。	長田	P96～101 P308～319	109

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則・宮下正好 内田成男	解剖学Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、運動療法学実習、 運動機能評価学、神経機能評価学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野の運動療法の基礎知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	適切な治療を選択し実施するために、各運動療法の理論・目的・方法を説明できる。					
行動目標(SBO)	1. 関節可動域運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 2. 筋力増強運動の具体的な方法を選択し、説明できる。 3. 全身持久力運動等 その他の代表的な運動療法の内容を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>現代の理学療法において、運動療法は最も大きな柱として位置づけられています。疾患ごとの治療学(骨・関節疾患理学療法学、中枢神経疾患理学療法学 など)の中でも学びますので、この授業では運動療法において最も基本的な技術である関節可動域運動、筋力増強運動を中心に学習します。</p> <p>この授業は、「運動療法学実習」と並行して進んでいきます。運動療法学で学んだ内容は実習前に復習しておくように心がけましょう。また、解剖学・運動学の知識は運動療法学の基盤なので、これらの科目の復習をし、統合しながら理解するように努めましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書:市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 参考書:石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版」中山書店.2017 吉尾雅春(編)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第4版」医学書院.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業冒頭でキーワード、行動目標を提示するので確認の上、受講すること。 2. 理解不十分な部分はそのままにせず、担当教員に相談すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題(範囲は次ページ)を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6(水)	運動療法の基礎知識 運動療法の概念を理解する。 【KW】対象疾患、リスク管理、機能解剖 * 運動学全般の復習をして臨むこと。	植田	P2~42	202
第2回 4/14(木)	関節可動域運動① 関節可動域運動に必要な基礎知識を学ぶ。 【KW】関節の形状、基本構造、エンドフィール * 解剖学、運動学で学んだ関節構造について復習すること。	植田	p43~68	202
第3回 4/20(水)	関節可動域運動② 制限因子に対する治療手技の選択を学ぶ。 【KW】凹凸の法則、関節面、並進運動 * 関節の構造と共に、起始停止作用について復習すること。	植田	P186~220	202
第4回 4/27(水)	老化と運動機能 運動と加齢の関連を学ぶ。適切な運動療法の選択。 【KW】筋力低下、骨量減少、転倒 * 骨の構造と高齢者に多い疾患を復習すること。	植田	P175~183 P502~516	202
第5回 5/12(水)	筋の構造と機能 筋収縮の機序と、筋力を規定する因子を理解する。 【KW】興奮収縮連関・形態要因・神経要因・筋線維組成 * 筋の収縮メカニズム、収縮様式を事前に復習。	宮下	p69~78	202
第6回 5/18(水)	筋カトレーニングの原則、分類 筋力増強運動の基礎理論を学ぶ。 【KW】原則・条件・最大筋力法・最大反復法・筋持久力 * 筋力増強における三大原則を復習しておくこと。	宮下	p224~228	202
第7回 5/25(水)	筋カトレーニングの実際① 非荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・腸腰筋・大殿筋 * 開運動連鎖、閉運動連鎖を復習して臨むこと。	宮下	P228~234 p237~242	202
第8回 6/1(水)	筋カトレーニングの実際② 荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】ペダリング・スクワット・立ち上がり・股外転筋CKC * 立ち上がり動作における筋活動を復習しておくこと。	宮下	P238~234 p237~246	202
第9回 6/8(水)	呼吸理学療法、排痰法 体位排痰法を理解する。 【KW】排痰に必要な要素・肺区域・排痰体位 他 * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P105~112 P421~445 +配布資料	202
第10回 6/15(水)	持久カトレーニング 全身持久力の評価と運動強度の設定を理解する。 【KW】エネルギー代謝・運動負荷試験・運動強度 他 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p253~267	202
第11回 6/23(木)	運動制御と運動学習 諸理論の理解と臨床応用を学ぶ。 【KW】スキーマ理論、システム理論、KRとKP、フィードバック * 運動学習について復習して臨むこと。	内田	p135~ 他	202
第12回 6/29(水)	運動制御と運動学習 協調性・姿勢調節運動への運動療法を学ぶ。 【KW】協調運動障害、姿勢調節、運動連鎖 * 協調運動障害、姿勢アライメントについて復習して臨むこと。	内田	pp325-354	202
第13回 7/6(水)	各疾患に対する代表的な運動療法 代表的な体操の目的、方法を学ぶ。 【KW】Mckenzie体操、Frenkel体操、Codman体操 * 体操の目的、方法を身体を動かしながら復習すること。	植田	p292~395	202
第14回 7/13(水)	復習(1) 第1回~8回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	植田		202
第15回 7/14(木)	復習(2) 第9回~13回の内容で演習問題を提示し、解説を行う。 * 上記範囲で学習した内容を復習して臨むこと。	植田		202
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則・宮下正好 内田成男	解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、運動学Ⅰ・Ⅱ、基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱ、 運動療法学、運動機能評価学、など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験に加え、各分野においてより専門的な知識を持った任用資格の教員が、関節可動域訓練や筋力増強運動などを中心に各分野における運動療法の基礎となる技術を指導します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	関節可動域運動、筋力増強運動など、基本的な運動療法を実践することができる。					
行動目標(SBO)	1. 基本的なリスク管理ができる。 2. 運動療法に必要な基礎知識を述べるができる。 3. 適切な治療手技を選択できる。 4. 運動療法の基礎的技術を対象者に対し、正確に実践することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
1. 「運動療法学」と並行して進めていきます。講義内容を復習してから授業に臨むと理解が深まります。 2. 理学療法の実習の基礎となります。ここで症例の触れ方、肢位のとり方、セラピストの安定した姿勢、動かし方、力の入れ方をしっかり学んでください。 3. 授業中の実技練習だけでは技術の習得は不十分であるため、放課後等利用し各自実技練習を進めること。その際、担当教員に事前にアポイントをとっていただければ実技練習につき直接指導します。						
教科書・参考書						
教科書:市橋則明(編)「運動療法学 障害別アプローチの理論と実際 第2版」文光堂.2014 参考書:石川 朗(編)「理学療法テキスト 運動療法学」中山書店.2014 石川 朗(編)「理学療法テキスト 内部障害理学療法 呼吸 第2版」中山書店.2017 吉尾雅春(編)「標準理学療法学 専門分野 運動療法学 総論 第4版」医学書院.2017						
受講時留意点、その他						
1. 授業は動きやすい服装で臨んでください。ただし、派手な色や柄は控えること。 (1年次基礎PT学実習Ⅰ・Ⅱの基準を参考にしてください。) 2. 実習中は病院・施設と思い、言葉遣いに注意し、真剣に取り組むこと。 3. 自分の周りを動きやすく、また周りを見て全員が動きやすくなるように環境整備に留意すること。 4. 授業前に手洗いをし、血圧・脈拍測定、体調聴取を実習相手と互いにして実習に臨むこと。 5. 実習中(放課後の自主練習を含む)は感染対策を十分に行うこと。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	実技試験(7/19)を実施。2週間前に課題と確認ポイントを提示する。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6(水)	コースオリエンテーション ROM exercise① 感染症対策・バイタルチェック測定方法。ROMexの基本事項。 * バイタル測定の復習をしておくこと	植田	P2~42	講堂
第2回 4/14(木)	ROM exercise、ストレッチング法② 上肢のROMex 【KW】肩甲骨、肩甲上腕関節、肘関節、手関節、手指 * 上肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	p43~68	治療室
第3回 4/20(水)	ROM exercise、ストレッチング法③ 下肢のROMex 【KW】股関節、膝関節、足関節、足部 * 下肢の関節の種類や運動学を復習して臨むこと。	植田	P186~220	治療室
第4回 4/27(水)	ROM exercise、ストレッチング法④ 頭頸部・体幹のROMex 【KW】頭部、頸部、体幹 * 脊椎関節の解剖学、運動学を復習して臨むこと。	植田	P175~183 P502~516	治療室
第5回 5/13(金)	筋力増強運動① 基本的な運動と抵抗のかけ方。 【KW】自動運動・自動介助運動・抵抗運動 * 自動運動、他動運動の定義を復習しておくこと。	宮下	p69~78	治療室
第6回 5/18(水)	筋力増強運動② 筋力に応じた肢位、筋収縮の選択を学ぶ。 【KW】MMT・等尺性収縮・求心性収縮・遠心性収縮 * 筋収縮様式を復習して臨むこと。	宮下	p224~228	治療室
第7回 5/25(水)	筋力増強運動③ 非荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ。 【KW】中殿筋・大腿四頭筋(SLR,PS)・棘上筋・棘下筋 * OKCの特徴を復習しておくこと。	宮下	P228~234 p237~242	治療室
第8回 6/1(水)	筋力増強運動④ 荷重位での筋力増強運動の実際を学ぶ 【KW】ベダリング・スクワット・立ち上がり・股外転CKC * CKCの特徴を復習しておくこと。	宮下	P238~234 p237~246	治療室
第9回 6/8(水)	呼吸理学療法:排痰法 排痰体位を覚える。排痰手技を体験する。 【KW】体位排痰法・スクイーピング * 肺の解剖(肺区域)を覚えておく	宮下	P105~112 P421~445 +配布資料	治療室
第10回 6/15(水)	持久カトレーニング 運動処方と全身持久カトレーニングを方法を学ぶ。 【KW】カルボネン法・PWC測定 * ATP-PCr系について調べておく。	宮下	p253~267	治療室
第11回 6/24(金)	運動学習理論を応用した運動療法:運動学習を促進する介入の実際 【KW】課題指向型A、動機づけ、反復方法、フィードバック * 運動学習理論について復習しておくこと。	内田	P135~	治療室
第12回 6/29(水)	協調性運動障害・姿勢調節障害に対する運動療法 【KW】重錘負荷、弾性緊縛帯、PNF、運動連鎖、アライメント * 協調性運動障害と姿勢調節障害の概要について復習しておくこと。	内田	pp325-354	治療室
第13回 7/6(水)	各疾患に対する代表的な運動 【KW】Mckenzie体操、Frenkel体操、Codman体操 * 体操の目的、方法を身体を動かしながら復習すること。	植田	p292~395	治療室
第14回 7/13(水)	ROM exercise、ストレッチング法⑤ 第1回~第4回の復習 【KW】肩甲上腕関節、肘関節、股関節、膝関節 * 第1~4回の内容を十分に練習して臨むこと。	植田		治療室
第15回 7/14(木)	筋力増強運動⑤ 第5回~第8回の復習 【KW】徒手抵抗運動・自動介助運動・口頭指示 * 第5~8回の内容を十分に練習して臨むこと。	宮下		治療室
実技試験 7/19(水)				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬	基礎理学療法学,機能診断学,リハビリテーション概論 日常生活活動学実習,生活環境論,動作分析学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は回復期病棟での理学療法実務経験を基に、疾患だけでなく退院後の日常動作までを横断的に捉える過程を教授します。理学療法士の職域が治療場面に限らず、地域と深く関わりがあることを理解していただけるよう授業を展開していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	日常生活の特徴を理解し、基本的な評価方法で様々な動作・場面を評価できる。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1, 日常生活活動に関わる概念や用語を説明できる 2, 日常生活活動の評価法の種類を知る 3, BI・FIMなどの基本的な評価方法を習得する 4, 評価スケールを用い動作や症例から実際に点数付けができる 5, 自助具を作成することができる 6, 車椅子のメンテナンス・シーティングが出来る 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、対象者の日常生活について学ぶ授業です。生活復帰するために理学療法を行う上で必要な評価を学びます。臨床的にイメージしづらいことも多いかと思われますので、動画など可能な限り理解し易い材料を提供していきます。代表的な評価スケールに関しては自身で評価できるよう、自宅などでもチャレンジしてみましょう。						
教科書・参考書						
<ol style="list-style-type: none"> 1, 松澤正,江口勝彦 著:理学療法評価学 改定第6版,金原出版,2018 2, 千野直一 編著 :脳卒中の機能評価SIASとFIM,金原出版,2012 						
受講時留意点、その他						
<p>学習内容の理解が深まるよう、随時授業に関する予習・復習をしましょう。</p> <p>実際の日常生活をイメージするため、授業によっては持ち物を指定する場合があります。その都度デスクネットや口頭で周知しますので、忘れることのないよう互いに声をかけあってください。</p> <p>第15回では車椅子のメンテナンスを行います。必須ではありませんが実習着を推奨します。</p> <p>※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末試験(70点分)を実施。60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
小テスト						
レポート	30	授業:自助具作成に関するレポート課題を提出				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100	定期試験(70%)とレポート(30%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	イントロダクション、ADLの概念、位置づけ、目的 【KW】定義、self-care、評価の流れと評価時期	白井	教科書 159-160	202
第2回 4月5日	ADLの範囲と理学療法との関係性 【KW】APDL、BADL、IADL、出来るADL、しているADL、するADL	白井	教科書 160-163	202
第3回 4月19日	QOL 【KW】定義、ICF、ニーズとホープ、評価方法	白井	教科書 173-177	202
第4回 4月26日	Barthel Index 【KW】総論、背景、全容、段階付け、細項目段階付け	白井	教科書 166-167	202
第5回 5月10日	Functional Independence Measure① 【KW】総論、背景、全容、段階付け	白井	教科書 78-89	202
第6回 5月17日	Functional Independence Measure② 【KW】セルフケア(食事、整容、入浴、更衣)	白井	教科書 90-101	202
第7回 5月24日	Functional Independence Measure③ 【KW】セルフケア(トイレ動作、排泄)	白井	教科書 102-109	202
第8回 5月31日	Functional Independence Measure④ 【KW】移乗、移動	白井	教科書 110-120	202
第9回 6月7日	Functional Independence Measure⑤ 【KW】認知項目(コミュニケーション、社会的認知)	白井	教科書 121-133	202
第10回 6月14日	Functional Independence Measure⑥ 【KW】FIMのケーススタディと記録方法	白井	教科書 134-146	202
第11回 6月21日	ADLを支援する用具 【KW】自助具、生活支援機器、便利グッズ、自助具作成 ※自助具に関するレポート課題 提出期限:6月27日(月)9:00迄	白井	配布資料	202
第12回 6月28日	様々なADL評価スケール① 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など	白井	教科書 164-173	202
第13回 7月5日	様々なADL評価スケール② 【KW】BI、FIM、老研式、PULSES、ケニー式、など	白井	教科書 164-173 配布資料	202
第14回 7月12日	疾患病期別ADL評価 【KW】病期毎の脳卒中、片麻痺、起居動作評価	白井	配布資料	202
第15回 7月20日	まとめ 【KW】車椅子シーティング、メンテナンスを学ぶ ※必須ではないが、実習用の服装が望ましい	白井		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学実習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬 長田美紀	基礎理学療法学実習Ⅱ,日常生活活動学 動作分析学実習,理学療法学全般				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、日常生活に必要な起居動作・移乗・歩行などの介助・指導方法を提示します。1年時に学修した対象への触れ方を意識しながら、治療につながる介助を学び理解を深めてください。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基本動作及び歩行訓練が行えるようになるために、日常生活活動における基本動作の介助や指導方法を理解する。					
行動目標(SBO)	1,ADLにおける基本動作とは何かと言える 2,基本動作を手順を踏まえて再現できる 3,基本動作を自立度に合わせて介助できる 4,車椅子操作と介助ができる 5,歩行補助具の使用方法を指導できる 6,環境に合わせた歩行指導ができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
日常生活内で行われる基本動作は、それぞれの動作単独で行われるのではなく一連の動作内で行われます。授業ではそれぞれの動作を個別に取り扱いますが、常に次の動作があることを意識するようにしてください。またそれぞれの動作を分解し、動作を分析しながら授業を行っていきます。どこを介助すべきか、どの程度介助すべきか、を考えられるようになると、今後大切な様々な動作を観察・分析する能力が身につくこととなります。						
教科書・参考書						
指定教科書なし						
受講時留意点、その他						
実技授業の服装は原則半袖、ハーフパンツとします。華美なもの、破れた服装等は受講を認めない事があります。 感染症予防のため授業前に手洗いを実施、実技相手が変わるとに手指アルコール消毒を徹底して下さい。 衛生面に配慮(床に膝をつかない、床に物を置かないなど)しましょう。 授業終了時に自己チェックリストにて、その日の実技を自己採点していただきます。成績評価の20%を占めると同時に出席確認も兼ねていますので、必ず記載して授業終了時に毎回忘れず提出して下さい。 実技確認を希望する場合は、事前に担当教員へ約束を取り付けてください。放課後などに対応します。 ※この科目は本校ディプロマポリシーの2,4に対応します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	20	自己チェックリストの提出で評価(内容の到達状況は成績を左右しない)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80	実技確認で評価				
(合計)	100	実技確認(80%)と自己チェックリスト(20%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	コースオリエンテーション、臥位姿勢、寝返り、起き上がり この授業の概要及び説明、寝返りから起き上がりを行ってみる。	長田 白井	配布資料	治療室
第2回 4月12日	臥位姿勢、寝返り、起き上がり(1) 寝返りの立ち直り反応を観察し、軽度介助が行えるようになる。	長田 白井	配布資料	治療室
第3回 4月19日	臥位姿勢、寝返り、起き上がり(2) 寝返りから起き上がりの中程度及び重度介助ができるようになる。	長田 白井	配布資料	治療室
第4回 4月26日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(1) 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中程度、重度介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第5回 5月10日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(2) 立ち上がりの動作が、どういった身体運動で行われているのか理解する。 立ち上がり動作を軽度、中程度、重度介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第6回 5月17日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(3) ベッド ⇄ 車いす間の移乗動作を介助する。	白井 長田	配布資料	治療室
第7回 5月24日	座位姿勢、立ち上がり、移乗(4) 移乗動作を2人または3人で介助する方法を学ぶ。 起き上がりから移乗動作といった一連の動作を介助する。	長田 白井	配布資料	治療室
第8回 5月31日	実技確認 第1回～7回の授業より課題を提示。それを実施する。	白井 長田		治療室 機能訓練 室
第9回 6月7日	車椅子操作 車いす自走を体験し、指導方法を学ぶ。 車いす介助を様々な場面で体験し方法について学ぶ。	長田 白井	配布資料	治療室 機能訓練 室
第10回 6月14日	四つ這い、膝立ち、床からの立ち上がり 支持基底面の変化と重心移動の関係を意識した操作方法を学ぶ。	長田 白井	配布資料	治療室
第11回 6月21日	歩行(1) ステップング、ウェイトシフトが歩行にどう関与しているのか経験する。 %ウェイトの変化を経験する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第12回 6月28日	歩行(2) T杖を対象者に合わせ、2動作および3動作を指導する。 松葉杖を対象者に合わせ、4点交互歩行を指導する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第13回 7月5日	歩行(3) 平行棒内外での歩行介助を体験し、介助方法を学ぶ。 膝折れ患者の杖歩行介助方法を検討・実施してみる。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第14回 7月12日	立ち上がり、着座、歩行、階段昇降、段差昇降 松葉杖での2点交互歩行、小振り歩行、免荷歩行を指導する。 T杖および松葉杖での応用歩行を体験する。	白井 長田	配布資料	治療室 機能訓練 室
第15回 7月20日	復習 自己チェックリストで最高レベルに達していない項目を復習する。	長田 白井	配布資料	治療室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	身体運動学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	植田英則	運動学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法に必要な基礎的知識を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	骨、関節、骨格筋、靭帯等の構造、運動を三次元的に理解する。					
行動目標 (SBO)	基本構造に基づき、関節運動を理解する。 自動運動を見ることでどの部位が障害されているのか考えることができるようになる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は運動学Ⅰ・Ⅱを基礎に展開していきます。関節の構造に焦点を当て、どの部位がどのように動いているか、各組織がどのようになっているのか特徴をよく理解し、関節運動を観察できるように進めます。授業前には必ず運動学の復習を進めてください。						
教科書・参考書						
教科書：なし。必要に応じ、資料を配布						
受講時留意点、その他						
健康管理をしっかり行い、休まずに受講しましょう。身だしなみを整え、礼儀正しく受講しましょう。 予定・日程を変更する場合、掲示板またはデスクネットでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	単元終了後、学習成果をまとめたレポートを指定したA4用紙で提出。評価基準は1.提出期限を守る。2. 適切な用語を使用する。3. 授業内容を簡潔かつ丁寧にまとめられている。4. 1, 2年次に学んだ内容も含まれている。5. 誤字脱字がない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加、科目に対する興味・関心が良好等は加点の対象とする場合があります。 無礼な態度、不適切な身だしなみ、受講中の居眠り、迷惑行為(受講中の私語、飲食、携帯電話の使用等)、SNS等への授業についての公開 など 減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5/17	頭部・頸椎1：頭部を中心に関節運動を理解する。授業前には「C0/1/2の構造」を復習しよう。 【KW】後頭顆・翼状靭帯・後頭下筋群	植田	配布資料	109
第2回 5/26	頭部・頸椎2：頸椎を中心に関節運動を理解する。授業前には「C2～7の構造」を復習しよう。 【KW】彎曲・椎間関節	植田	配布資料	109
第3回 6/2	胸椎・肋骨1：胸椎を中心に関節運動を理解する。授業前に「Th1～12、胸郭の構造」を復習しよう。 【KW】彎曲・椎間関節・胸郭	植田	配布資料	109
第4回 6/9	胸椎・肋骨2：肋骨を中心に関節運動を理解する。授業前には「肋骨、胸郭の構造」を復習しよう。 【KW】上位・下位・キープ	植田	配布資料	109
第5回 6/16	腰椎：腰椎、下位胸椎の関節運動を理解する。授業前には「Th11～L5/S1の構造」を復習しよう。 【KW】彎曲・椎間関節・腸腰靭帯・腰方形筋	植田	配布資料	109
第6回 6/21	仙腸関節1：仙腸関節の関節運動を理解する。授業前には「骨盤の構造」を復習しよう。 【KW】骨盤・性差・岬角	植田	配布資料	109
第7回 7/1	仙腸関節2：仙腸関節の関節運動を理解する。授業前には「骨盤の構造」を復習しよう。 【KW】上殿皮神経・中殿皮神経	植田	配布資料	109
第8回 7/6	顎関節：顎関節の関節運動を理解する。授業前には「顎関節の構造」を復習しよう。 【KW】下顎骨・舌骨・アライメント	植田	配布資料	109
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載、長田美紀、内田成男	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、 中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脳血管障害に対する治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を説明することができる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害の基本的な障害像が説明できる。 2. 脳血管障害に対する基本的な理学療法が説明できる。 3. 対象者の脳血管障害像を医学的に説明することができる。 4. 対象者の脳血管障害像に合わせた理学療法を説明することができる。 5. 実施した理学療法を理解し、治療立案の考え方を説明することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について基本的理学療法から障害像に合わせた理学療法まで学習していきます。この授業で学んだ内容をもとに中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱにつなげることで、基本動作の治療実践、治療プログラムの立案法など将来担当するであろう患者様に対して必要な治療技術・考え方の習得に向けて授業展開をしていきます。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】奈良 勲監修 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版, 医学書院, 2018</p> <p>【参考書】医療情報科学研究所 病気が見えるvol.7 第2版 脳・神経, メディックメディア, 2017.</p>						
受講時留意点、その他						
<p>適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べることを推奨します。予習・復習を心がけ、分からないことは積極的に質問できるように努力してください。</p> <p>服装は指定のポロシャツ、スラックスで出席してください。学内の講義ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験にて評価します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	<p>授業への積極参加（挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等）は最終的な成績判定でプラスに考慮します。</p> <p>校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。</p> <p>授業中、他の学生への悪影響（騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等）を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。</p>				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/13	オリエンテーション、脳卒中後片麻痺に対する理学療法① 座位保持・座位バランスの理学療法を説明することができる。 【key word】 座位姿勢観察 静的座位・動的座位	長田	240～252 259～260	109
第2回 5/20	脳卒中後片麻痺に対する理学療法② 立ち上がりの理学療法を説明することができる。 【key word】 座位姿勢 環境調整 立ち上がり	長田	240～252 259～260	109
第3回 5/25	脳卒中後片麻痺に対する理学療法③ 立位保持・立位バランスの理学療法を説明することができる 【key word】 立位姿勢観察 静的立位・動的立位	三田	240～252	109
第4回 6/3	脳卒中後片麻痺に対する理学療法④ 歩行の理学療法を説明することができる 【key word】 重心移動 ステッピング 平行棒内歩行	三田	240～252 268～287	109
第5回 6/10	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑤ 歩行の理学療法を説明することができる 【key word】 杖歩行 独歩	三田	240～252 268～287	109
第6回 6/16	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑥ 寝返り・起き上がりの理学療法を説明することができる 【key word】 背臥位姿勢 寝返り 起き上がり	長田	253～259	109
第7回 6/16	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑦ 移乗の理学療法を説明することができる 【key word】 座位姿勢 非麻痺側機能 移乗動作	長田	253～259	109
第8回 6/24	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑧ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を説明することができる。【key word】 リスク管理 ポジショニング ROM-	長田/三田	94～101 203～216 217～228	109
第9回 6/29	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑨ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を説明することができる。【key word】 離床 ギャッジアップ 座位耐久性 リクライニング	長田/三田	94～101 203～216 217～228	109
第10回 7/1	復習	三田		109
第11回 7/8	理学療法と運動学習 【key word】 FB誤差学習、課題志向型、動作難易度	三田	67～75	109
第12回 7/8	ICFによる障害構造の整理、ゴール設定、治療立案 【key word】 病態解釈 評価結果の解釈 治療立案 動作練習	三田	67～75	109
第13回 7/11	高次脳機能障害と理学療法① 【key word】 失語、失行、失認	内田	154～186	109
第14回 7/11	高次脳機能障害と理学療法② 【key word】 遂行機能障害、脳血管性認知症、意識障害	内田	187～202	109
第15回 7/19	まとめ	三田		109

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀、三田久哉、内田成男	脳神経外科学、神経内科学、神経機能評価学、中枢神経疾患理学療法学・実習Ⅰ、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に脳血管障害に対する理学療法治療学を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	脳血管障害に対する治療法について理解し、障害像に合わせた理学療法を実施することができる。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害の基本的な障害像が理解できる。 2. 脳血管障害に対する基本的な理学療法が実施できる。 3. 対象者の脳血管障害像を医学的に把握することができる。 4. 対象者の脳血管障害像に合わせた理学療法を実施することができる。 5. 実施した理学療法を理解し、治療立案の考え方を記載することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では理学療法の主要な対象疾患である脳血管障害について基本的理学療法から障害像に合わせた理学療法まで学習していきます。中枢神経疾患理学療法学Ⅱで学んだ内容をもとに基本動作の治療実践、治療プログラムの立案法など将来担当するであろう患者様に対して必要な治療技術・考え方の習得に向けて授業展開をしていきます。実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技は教員に声を掛けて見てもらうのが上達の早道です。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】①石川朗 大畑光司著 15レクチャーシリーズ 神経障害理学療法学Ⅰ. 中山書店, 2020 ②奈良 勲監修 標準理学療法学 神経理学療法学 第2版. 医学書院, 2018 ③医療情報科学研究所 病気が見えるvol.7 第2版 脳・神経. メディックメディア, 2017. 【参考書】随時紹介する。</p>						
受講時留意点、その他						
<p>適宜、必要な文献および資料を配布しますが、各自、必要な資料を調べることを推奨します。予習・復習を心がけ、分からないことは積極的に質問できるように努力してください。 服装は指定のポロシャツ、スラックスで出席してください。学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。授業前後の手洗いも徹底してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回で実技確認(70%) ・各授業に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する(30%) ・正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・スマートフォンの使用・不適切な行為をした場合、減点の対象とする。 				
(合計)	100%					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法① 座位保持・座位バランスの理学療法を実践することができる。 【key word】 座位姿勢観察 静的座位・動的座位	長田	①P123～125 ②259,260	機能訓練室 治療室
第2回 5月20日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法② 立ち上がりの理学療法を実践することができる。 【key word】 座位姿勢 環境調整 立ち上がり	長田	①P125,126, 156～164 ②259,260	機能訓練室 治療室
第3回 5月25日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法③ 立位保持・立位バランスの理学療法を実践することができる 【key word】 立位姿勢観察 静的立位・動的立位	三田	①P125,126, 156～164 ②259,260	機能訓練室 治療室
第4回 6月3日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法④ 歩行の理学療法を実践することができる 【key word】 重心移動 ステッピング 平行棒内歩行	三田	①P156～164 ②268～281	機能訓練室 治療室
第5回 6月10日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑤ 歩行の理学療法を実践することができる 【key word】 杖歩行 独歩	三田	①P156～164 ②268～281	機能訓練室 治療室
第6回 6月15日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑥ 寝返り・起き上がりの理学療法を実践することができる 【key word】 背臥位姿勢 寝返り 起き上がり	長田	①P120～123 ②253～259	機能訓練室 治療室
第7回 6月15日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑦ 移乗の理学療法を実践することができる 【key word】 座位姿勢 非麻痺側機能 移乗動作	長田	配布資料	機能訓練室 治療室
第8回 6月24日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑧ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を整えることができる。【key word】 リスク管理 ポジショニング ROM-ex	長田	①P119～123 ②217～223	機能訓練室 ADL室
第9回 6月29日	脳卒中後片麻痺に対する理学療法⑨ ～急性期～ ベッド上での理学療法の目的を理解し、離床への準備を整えることができる。【key word】 離床 ギャッジアップ 座位耐久性 リクライニング	三田	①P119～123	機能訓練室 ADL室
第10回 7月1日	実技確認	長田 三田		機能訓練室 治療室
第11回 7月8日	演習① 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】病態解釈 評価結果の解釈	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第12回 7月8日	演習② 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】病態解釈 評価結果の解釈	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第13回 7月15日	演習③ 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】治療立案 動作練習	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第14回 7月15日	演習④ 仮症例の障害像を理解し、障害像に合わせた理学療法を実践することができる。 【key word】治療立案 動作練習	長田 三田	配布資料	機能訓練室 治療室
第15回 7月19日	まとめ	長田	配布資料	機能訓練室 治療室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経・筋疾患理学療法学II	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	白井英彬・内田成男	神経内科学・中枢神経理学療法学 日常生活活動学・臨床理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、神経難病などに対する知識、理学療法アプローチを教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	パーキンソン病など代表的な疾患の理学療法が行えるようになるために、それらの病態に関する知識、治療法について知る。					
行動目標 (SBO)	① 各疾患における特徴的な症状が言える。 ② 各疾患に必要な評価項目が挙げられる。 ③ 各疾患の病態や病期に合わせた理学療法が考えられるようになる。 ④ 疾患毎の特徴や理学療法を他者に口頭で伝えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>神経・筋疾患理学療法IIでは、主に神経難病といわれる疾患を取り扱います。多くの疾患を扱いますので、1つ1つ整理しながら学習して下さい。分からないことはそのままにせず、担当教員に確認を行いましょう。症例検討は、グループ毎に分かれて行います。仮想症例を通じて評価から治療プログラムまで、一連の考え方を学びますので、自ら考え積極的に授業参加するようにしてください。</p>						
教科書・参考書						
教科書：潮見泰藏編著 『ビジュアルレクチャー 神経理学療法学』(医歯薬出版) 参考書：奈良勲監修 『標準理学療法学・作業療法学 神経内科学』(医学書院) 奈良勲監修 『標準理学療法学 運動療法 各論』(医学書院)						
受講時留意点、その他						
<p>欠席することなく受講できるように健康管理に留意しましょう。</p> <p>第7回,第13回の授業で、その時点までの授業でお伝えした知識をもとにグループワークを行ないます。ここでの取り組みが皆さんの習熟度を測るものさしとなりますので、復習してから受講するようにしましょう。</p> <p>※この科目は本校ディプロマポリシーの2.4に対応します</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末試験(70点分)を実施。60%未満の学生を対象に再試験を実施する				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション	30	第7回,第13回のグループ内発表(15%×2回分)				
その他						
(合計)	100	定期試験(70%)とグループワーク課題(30%)の合計				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月10日	神経・筋疾患総論 これから取り上げる疾患の分類、コルパチーとミカチーの違いについて学ぶ。 【キーワード】神経原性筋萎縮、筋原性筋萎縮、末梢神経損傷	白井	配布資料	109
第2回 5月17日	多発性神経炎・ギラン・バレー症候群の理学療法 多発性神経炎、特にギラン・バレー症候群の症状と理学療法を学ぶ。 【キーワード】先行感染、脱髄型、軸索型	白井	230-238	109
第3回 5月24日	多発性硬化症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】特徴的な疼痛、Uhthoff徴候、寛解憎悪	白井	212-223	109
第4回 5月25日	パーキンソン病の理学療法（1） 症状と疫学について学び、治療薬についても学習する。 【キーワード】黒質緻密部、Hoehn&Yahrの重症度分類、L-Dopa製剤	内田	94-120	109
第5回 5月30日	パーキンソン病の理学療法（2） 症状や重症度分類に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】バランス障害、歩行障害、手がかり	内田	94-120	109
第6回 6月2日	脊髄小脳変性症の理学療法 疾患の特徴と理学療法評価、理学療法について学ぶ。 【キーワード】多系統萎縮症、協調性障害	内田	128-151	109
第7回 6月8日	神経・筋疾患に対する理学療法（まとめ） 第1～6回までの復習を行う。グループワークで互いの理解度を測る。	白井	94-120 128-151 230-238	109
第8回 6月9日	筋萎縮性側索硬化症の理学療法（1） 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】陰性四徴候、球麻痺、重症度分類	白井	194-205	109
第9回 6月16日	筋萎縮性側索硬化症の理学療法（2） 疾患の特徴と理学療法評価、病期に合わせた理学療法について学ぶ。 【キーワード】陰性四徴候、球麻痺、重症度分類	白井	194-205	109
第10回 6月20日	多発性筋炎・重症筋無力症の理学療法 疾患の特徴と評価、理学療法の目的と病期に合わせた理学療法を学ぶ。 【キーワード】リフトアップ疹、ゴットマン徴候、マイア現象、waning現象	白井	配布資料	109
第11回 6月28日	進行性筋ジストロフィーの理学療法（1） 症状およびstageについて学び、stageごとの理学療法について学ぶ。 【キーワード】 遺伝形式、仮性肥大、動揺性歩行、登攀性起立	白井	170-187	109
第12回 7月4日	進行性筋ジストロフィーの理学療法（2） 症状およびstageについて学び、stageごとの理学療法について学ぶ。 【キーワード】 遺伝形式、仮性肥大、動揺性歩行、登攀性起立	白井	170-187	109
第13回 7月11日	神経・筋疾患に対する理学療法（まとめ） 第1～12回までの復習を行う。グループワークで互いの理解度を測る。	白井	170-187 194-205 212-223	109
第14回 7月12日	症例検討（1） 提示された症例に対し、ICFに則り評価項目と問題点を列挙する。 【キーワード】 理学療法評価、統合と解釈	白井	122-123	109
第15回 7月20日	症例検討（2） 列挙した問題点に対する治療アプローチを立案しグループ毎に発表する 【キーワード】 統合と解釈、プログラム立案	白井	122-123	109
定期試験	後期末試験 第1～15回の範囲でペーパーテストを行う。			

3年生：(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療学科	大沼賢洋、植田英則、赤岩龍士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器系疾患における理学療法の進め方、考え方を理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 変形性関節症の病理、臨床症状、治療方法が分かる。 2. 骨折の病態、治癒過程、治療法が分かる。 3. 末梢神経損傷の病態、治療法が分かる。 4. 熱傷の病態、治療法が分かる。 5. 運動器疾患における基本的な理学療法評価が分かる。 6. 運動器疾患における基本的な運動療法が分かる。 7. 各疾患に応じて必要な評価、運動療法を選択することができる。 8. 関節構造を踏まえた理学療法を理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>本講義で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるものです。解剖学・運動学的知識をもとにその病態を理解し、理学療法を組み立てていけるよう講義を展開していきます。解剖学、運動学、整形外科学等関連項目で学んだ知識を結びつけながら理解していくことがポイントです。そこを意識して受講できると良いでしょう。学習が十分に進まないようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：Crosslink 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学（メジカルビュー） 参考書：運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版（南江堂）、標準整形外科学 第13版（医学書院） など</p>						
受講時留意点、その他						
<p>本講義は、運動器疾患理学療法学実習Ⅰと関連付けて行います。 解剖学、整形外科学などで学んだ内容（教科書、ノート、資料）を適宜参考にしてください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	本試験で不合格の場合再試験を実施し、再試験合格者の成績は、試験規程に準じて60点として扱う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生：(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/12	<u>コースオリエンテーション、肩関節周辺疾患①</u> 肩関節周辺疾患の評価について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第2回 5/18	<u>肩関節周辺疾患②</u> 肩関節の解剖学・運動学を確認する	大沼賢洋	P276-369	203
第3回 5/26	<u>肩関節周辺疾患③</u> 肩関節周辺疾患の病態と治療について理解する	大沼賢洋	P276-369	203
第4回 6/3	<u>画像評価</u> 学療法の対象となる代表的な骨関節疾患の画像診断の診かたを理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第5回 6/10	<u>スポーツ疾患</u> 野球肘、上腕骨外側上顆炎、オスグッドシュラッター病、ジャンパー膝などの病態と治療を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第6回 6/17	<u>膝関節周辺疾患①</u> 十字靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P438-469	203
第7回 6/23	<u>運動器疾患の理学療法</u> エビデンス・ガイドラインに基づく運動療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第8回 6/24	<u>膝関節周辺疾患②</u> 半月板損傷、側副靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P438-469	203
第9回 6/28	<u>腰椎周辺の機能と構造</u> 体幹・骨盤の解剖学を確認する	植田英則	P370-437	203
第10回 6/29	<u>腰椎周辺の疾患学</u> 腰痛の原因を理解する	植田英則	P370-437	203
第11回 7/5	<u>足関節周辺疾患</u> 捻挫・靭帯損傷の病態と治療を理解する	赤岩龍士	P470-498	203
第12回 7/6	<u>関節リウマチ①</u> 自己免疫疾患・膠原病・関節リウマチの基礎を理解する 臨床症状(関節症状・関節外症状)・臨床検査・診断基準を理解する	大沼賢洋	P542-575	203
第13回 7/7	<u>関節リウマチ②</u> 評価・治療① 評価の工夫、術後のリハビリテーションを理解する 保存のリハビリテーション(ADL)を理解する	大沼賢洋	P542-575	203
第14回 7/13	<u>疾患別理学療法(関節リウマチ、肩・膝・股関節疾患など)</u> 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
第15回 7/20	<u>疾患別理学療法(骨折、スポーツ外傷、脊椎疾患など)</u> 疾患別の理学療法を理解する	大沼賢洋	配布資料	203
定期試験				

3年生：(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動器疾患理学療法学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、植田英則、赤岩龍士	解剖学Ⅰ、解剖学実習、運動学、生理学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、基礎理学療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、臨床実習で関わる疾患や国家試験によく出る疾患を中心に、学生が理解できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器系疾患に対する基本的な評価、運動療法を実践できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接を適切に行うことができる。 2. 症例に応じた評価を選択・実践できる。 3. 疾患に応じた関節可動域運動、筋力増強運動ができる。 4. 杖等の調節、荷重計画の遂行を含め、歩行指導ができる。 5. リスクに配慮しながらの動作指導ができる。 6. 疾患特性を把握して、リスク管理をすることができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業で学ぶ疾患は臨床場面で数多く関わるもので、講義で学んだ内容をもとに対象者（症例）を想定して実施していきます。将来担当するであろう患者様に対して、評価・治療・ADL指導を実施する際のヒントになるような内容で展開をしていきます。また、実技は、実際の臨床に直結する内容となりますので、繰り返しの練習が必要となります。実技が上達しない、思うように進まないなどあるようでしたら相談をしてください。個別の指導を実施します。						
教科書・参考書						
教科書：CROSSITIK 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学（メンカレッジ） 参考書：運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版（南江堂）、標準整形外科学 第13版（医学書院）など						
受講時留意点、その他						
この授業は、運動器疾患理学療法学Ⅰと関連付けて行います。適宜資料を参考にしてください。 Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装で出席してください（服装、身だしなみは清潔感のあるものとします）。 学内の実習ではありますが、緊張感を持ち、礼儀正しく臨みましょう。特に、実技練習の際は学生同士といえども許可を得る、礼を述べることを絶対に忘れないでください。授業前後の手洗いも含め、感染予防対策を徹底してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100	変形性股関節症と大腿骨頸部骨折の2症例を提示し、課題を実施。				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生：(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/12	<u>コースオリエンテーション、肩関節周辺疾患①</u> 肩関節周辺疾患の評価方法の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第2回 5/18	<u>肩関節周辺疾患②</u> 肩関節周辺疾患の治療の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第3回 5/26	<u>肩関節周辺疾患③</u> 肩関節周辺疾患の治療の実習	大沼賢洋	配布資料	治療室
第4回 6/3	<u>下肢に対する治療① stretching理論</u> stretchingの理論と実際。股関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第5回 6/10	<u>下肢に対する治療② IDstretching実習</u> IDstretchingの実践。股関節・膝関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第6回 6/17	<u>下肢に対する治療③ IDstretching実習</u> IDstretchingの実践。膝関節・足関節。	大沼賢洋	配布資料	治療室
第7回 6/23	<u>下肢に対する治療④ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの理論と実際。股関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第8回 6/24	<u>下肢に対する治療⑤ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの実践。膝関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第9回 6/28	<u>下肢に対する治療⑥ 関節mobilization</u> 関節mobilizationの実践。足関節。	赤岩龍士	配布資料	治療室
第10回 6/29	<u>腰痛に対する評価</u> 腰痛原因を特定する評価を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第11回 7/5	<u>腰痛に対する治療① 軟部組織mobilization</u> 筋性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第12回 7/6	<u>腰痛に対する治療② 関節mobilization</u> 関節性の原因に対して治療を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第13回 7/12	<u>腰痛に対する治療③ stabilization、Active training</u> 腰部周囲の筋に対してアプローチすることができる。	植田英則	配布資料	治療室
第14回 7/13	<u>腰痛に対する治療④ stabilization、Active training</u> 自己コントロールするための運動を実施することができる。	植田英則	配布資料	治療室
第15回 7/20	<u>体幹・下肢に対する治療手技の確認・まとめ</u> ここまで学んだ治療手技を正しく実施することができる。	大沼賢洋 植田英則	配布資料	治療室 OT実習室1
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森 梢 / 中村剛志 / 内田成男	生理学、物理療法学実習、運動療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法の基礎理論から実践方法までを教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	物理療法の理論と実施方法を理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理的手段の基礎事項が分かる。 2. 物理療法の生体への反応を述べることができる。 3. 各療法の実施手順を述べるができる。 4. 各療法の適応、禁忌が分かる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>物理療法の基礎理論は、治療手段の基礎となる「物理学」の内容と、生体の反応を理解するための「生理学」の内容に大別できます。物理学の考え方については慣れていない人もいますが、学ぶのは治療手段の理解に最低限必要なものだけです。苦手意識をもたずに取り組んで下さい。</p> <p>治療の実施については、実施手順とあわせて、適応・禁忌を十分に理解しましょう。リスク管理は、物理療法において重要な事項です。禁忌をしっかりと覚え、適切な物理療法を選択できるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：石川 朗（編）15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習（第1版），中山書店，2014</p> <p>参考書：奈良勲（監）標準理学療法学 専門分野 物理療法学（第4版），医学書院，2013</p> <p>吉田英樹（編）：Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学（第1版），メジカルビュー社，2020。</p>						
受講時留意点、その他						
健康管理に留意し、休まずに受講しましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末定期試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。 第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第14回、第15回で演習問題（範囲は次ページ）を提示し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月16日	<u>コースオリエンテーション、物理的なエネルギー</u> 物理的なエネルギーの種類を学ぶ。 【キーワード】熱エネルギー・波のエネルギー・電気エネルギー	佐藤 (内田)	p1~10	
第2回 5月19日	<u>物理療法の対象となる病態</u> 物理療法の対象となる症状、病態を学ぶ。 【キーワード】炎症・疼痛	内田	p 6~10	配布資料 202
第3回 5月20日	<u>温熱の基礎</u> 温熱の物理的特性と生理学的作用を学ぶ。 【キーワード】比熱・熱の移動・生体反応	佐藤	p11~14	
第4回 5月23日	<u>温熱療法：ホットパック、パラフィン浴、赤外線療法</u> 温熱療法（伝導熱と輻射熱）について学ぶ。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・赤外線・適応・禁忌	内田	p14~34	
第5回 5月27日	<u>温熱療法：極超短波</u> エネルギー変換熱について学ぶ。 【キーワード】熱発生の原理・生理学的作用・コサインの法則・	内田	p35~46	
第6回 5月31日	<u>寒冷療法</u> 寒冷療法の生理学的作用と実施方法を学ぶ。 【キーワード】アイスマッサージ・生理学的作用・適応・禁忌	中村先生	p59~70	
第7回 6月7日	<u>水治療法</u> 水の特性と水治療法の実際を学ぶ。 【キーワード】浮力・抵抗・生理学的作用・渦流浴・プール療法	中村先生	p71~82	
第8回 6月14日	<u>超音波療法</u> 超音波の原理・特性と実施手順、適応と禁忌を学ぶ。 【キーワード】ビーム不均等率・有効照射面積・実施手順・適応・	中村先生	p83~94	
第9回 6月21日	<u>光線療法：レーザー療法・紫外線療法</u> レーザー光線・紫外線療法の基本を理解し、適応・禁忌を学 ぶ。	中村先生	p47~58	
第10回 6月17日	<u>電気刺激療法の基礎</u> 電気エネルギーの理論を理解し、生理学的効果を学ぶ。 【キーワード】電流・持続時間・周波数・強さ-時間曲線・他	内田	p95~106	
第11回 6月22日	<u>電気刺激療法①：経皮的神経電気刺激（TENS）</u> 疼痛治療のための電気刺激療法について学ぶ。 【キーワード】TENS・痛み・伝導路・シナプス前抑制・オピオイ	内田	p107~118	
第12回 6月23日	<u>電気刺激療法②：治療的電気刺激（TES）と機能的電気刺激（FES）</u> TESとFESの分類と実際について学ぶ	内田	p119~142	
第13回 6月30日	<u>牽引療法</u> 牽引の生体への力学的影響を理解し、適応・禁忌を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引・牽引力・方向	内田	p143~152	
第14回 7月7日	<u>物理療法の基礎（復習）</u> 第1~6回の復習（問題演習）を行う。	内田	p1~70	配布資料
第15回 7月14日	<u>温熱療法の基礎と実際（復習）</u> 第7~13回の復習（問題演習）を行う。	内田	p71~152	配布資料
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	物理療法学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	森 梢 / 内田成男 / 中村剛志	生理学、物理療法学 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、物理療法機器の使用方法から実施方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	代表的な物理療法を一通り実施することができる。 各種疾患に適した物理療法を選択できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 物理的刺激による生体反応を体験し、理解できる。 2. 物理療法機器の基本的な操作ができる。 3. 注意事項に応じた確認、説明が出来、禁忌を回避できる。 4. 代表的な疾患へ適した物理療法を選択し、治療プログラムを検討できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では、講義で学んだ各種療法を実際に行います。自ら体験すること、観察することで、物理的刺激で生じる生体反応を理解できるでしょう。</p> <p>また、実施手順、禁忌事項を理解し、安全に行う技能を身につけていきます。機器の台数が限られているため、何グループかに分かれてローテーションしながらの実習になります。限られた時間になりますが、出来るだけ多く体験し、授業時間内で一通りの操作ができるようにしていきます。</p> <p>もう一つの目標として、各種疾患に適した物理療法の選択ができるようにしていきます。治療法の選択は難しい課題ですが、グループで協力しながら検討していきます。</p>						
教科書・参考書						
教科書：石川 朗（編）15レクチャーシリーズ 物理療法テキスト 物理療法学・実習（第1版），中山書店，2014 参考書：奈良勲（監）標準理学療法学 専門分野 物理療法学（第4版），医学書院，2013 吉田英樹（編）：Crosslink理学療法学テキスト 物理療法学（第1版），メジカルビュー社，2020.						
受講時留意点、その他						
物理療法機器を扱いますので、危険が伴います。各自集中力をもって授業に臨んで下さい。手洗いをして、爪は短く切り、身だしなみを整えましょう。装飾品は除去して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	70	第15回で作成するレポートを70%の評価割合で成績評価に参入する。 なお、レポートは第15回の時間内で作成、提出することとする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	30	代表的な物理療法が一通り実施できるようになったかを「行動観察」で評価する。 第14回に実施する課題は、2週間前に提示。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月19日	コースオリエンテーション、使用機器の説明 物理療法学実習で使用する機器や測定機器の説明 【キーワード】パルスオキシメーター・表面温度計	森 (内田)		治療室
第2回 5月20日	温熱刺激による生体反応 代表的な温熱療法の実施手順を習得する。 【キーワード】ホットパック・パラフィン・極超短波	内田	p11~14	治療室
第3回 5月27日	温熱刺激による生体反応 温熱による生体の変化を体験し、測定する。 【キーワード】伝導熱・表面温度・伝導率	内田	p14~24, p35~46	治療室
第4回 5月31日	寒冷療法 寒冷療法の体験を通して生体の反応を学ぶ。 【キーワード】表面温度計・氷・バイタルサイン	中村	p59~70	治療室
第5回 6月7日	水治療法 渦流浴の体験を通して、全身・局所への影響を理解する。 【キーワード】部分浴・全身浴	中村	p71~82	治療室 水治療室
第6回 6月14日	超音波療法 超音波治療器を用い、実施方法を学ぶ 【キーワード】接触法・水中法・キャビテーション	中村	p11~58, p83~152	治療室
第7回 6月17日	電気刺激療法① 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p95~142	治療室
第8回 6月21日	電気刺激療法② 電気刺激装置の使用方法和時値、SD曲線を学ぶ。 【キーワード】モーターポイント・クロナキシー・TES・TENS	内田	p95~142	治療室
第9回 6月22日	牽引療法 牽引装置の操作体験を通し、牽引力・方向の調整を学ぶ。 【キーワード】頸椎牽引・腰椎牽引	内田	p143~152	治療室
第10回 6月23日	物理療法の総合復習① 各種療法の復習を行う。 【キーワード】温熱療法・電気刺激療法・光線療法・超音波療法	内田	p11~58, p83~152	治療室
第11回 6月30日	物理療法の総合復習② 各種療法の復習を行う。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	内田	p11~58, p83~153	治療室
第12回 7月7日	疾患別物理療法プログラムの検討 ① 骨関節疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】骨折・変形性関節症・腰痛症・肩関節周囲炎	内田	配布資料	202
第13回 7月14日	疾患別物理療法プログラムの検討 ② 神経疾患に対する物理療法の選択をグループで検討する。 【キーワード】末梢神経麻痺・中枢性麻痺・疼痛	内田	配布資料	202
第14回 7月21日	物理療法の総合復習③ 代表的な物理療法を一通り実施できるか確認する。 【キーワード】電気刺激療法・ホットパック・超音波療法	内田		202
第15回 7月21日	疾患別物理療法プログラムの検討 ③ 各種疾患に対する物理療法をレポートにまとめる。 【キーワード】骨関節疾患・神経疾患・適応と禁忌	内田		202
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	長田美紀/市村真樹	解剖学・運動学・整形外科学・神経内科学 中枢神経疾患理学療法学・運動器疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に装具に必要なバイオメカニクスの理解、疾患に合わせた装具が選択できるように授業をしていきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	疾患により、運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるよう、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 正常歩行と比較し、運動・運動力学的視点で装具歩行を説明できる。 2. 装具の基本的構造と機能を理解できる。 3. 疾患や障害に合わせた装具の選択を理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では、身体バイオメカニクスを基に進めていきます。解剖学・運動学の復習を十分行うことで理解が深まります。装具の種類は多いですが、各々の部品や機能などを理解することで疾患や障害に合わせた装具の選定が可能になります。授業中に装具の実物を提示しますので、しっかり確認するようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書:石川朗, 佐竹将宏 15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 装具学 第2版 中山書店 2020年 参考書:日本義肢装具学会監修 装具学 第4版 医歯薬出版株式会社 2013年						
受講時留意点、その他						
学習内容の理解が深まるように、随時授業に関する予習・復習の指示を出しますので、しっかりと予習復習してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。60点以上を合格の目安とする。第1回～第15回までの全ての内容から出題する。				
小テスト	0					
レポート	0					
実技試験	0					
プレゼンテーション	0					
その他	0	第15回で演習問題を実施し、解説を行う。原則として成績には含まず、学習状況の確認のために実施。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	装具の分類総論 【キーワード】装具目的、種類、採型	長田	P1～8	109
第2回 5月16日	装具の分類各論 下肢装具の部品・短下肢装具 【キーワード】短下肢装具、継手	長田	P11～30	109
第3回 5月23日	装具の分類各論 下肢装具 【キーワード】長下肢装具、股装具、膝装具	長田	P31～40	109
第4回 5月25日	装具の分類各論 靴型装具、下肢装具のチェックアウト 【キーワード】靴型装具、チェックアウト	長田	P41～61	109
第5回 5月30日	装具の分類各論 上肢装具 【キーワード】肩関節装具 手関節装具	長田	P85～94	109
第6回 6月1日	装具の分類各論 体幹装具 【キーワード】頸椎装具 腰仙椎装具 側弯矯正装具	長田	P73～84	109
第7回 6月6日	歩行補助装具 【キーワード】歩行補助具 車椅子 クッション	長田	P95～108	109
第8回 6月6日	疾患別: 脊髄損傷の装具療法 【キーワード】頸髄損傷の歩行 プライムウォーク	長田	P144～147	109
第9回 6月13日	疾患別: 整形外科疾患の装具療法 【キーワード】膝装具 ミルウォーキー ポストン	長田	P123～142	109
第10回 6月20日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の歩行の特徴	市村	配布資料	109
第11回 6月27日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具の特徴	市村	P109～118	109
第12回 6月27日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具療法の紹介	市村	P109～118	109
第13回 7月4日	疾患別: 脳卒中 脳卒中片麻痺の装具療法の演習	市村	P109～118	109
第14回 7月11日	歩行分析・装具選定(実技) 【キーワード】アライメント 代償動作 装具選定	長田	配布資料	109
第15回 7月19日	演習問題	長田	配布資料	109

(02ーカリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論Ⅰ	1	15	講義	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	リハビリテーション概論、社会福祉概論、日常生活活動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法における症例に対する検討方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	生活復帰、自宅復帰に向けた環境設定を通した理学療法の流れを学ぶ					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境論の概念を理解する 住環境整備の流れを理解し、理学療法士の役割を説明できる。 住環境整備に必要な環境調整方法を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、今までに学習した知識や技術を生活復帰・自宅復帰に向けてどのように結び付けていくかを学ぶ授業です。まずは、いま自分が持っている知識や技術がどのように結びつくのか考えながら受講しましょう。そして、うまく結びつかないところを結びつけるために質問したり調べ学習を進めていくと良いでしょう。						
教科書・参考書						
教科書 なし						
参考書 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学第5版 医学書院 理学療法テキストX 生活環境論 神陵文庫 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 東京商工会議所						
受講時留意点、その他						
講義や演習、グループワークに積極的に参加すること。 体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	100	授業での提出物が対象。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とし、状況によっては延長授業の受講を禁じる場合がある。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/17	<u>ガイダンス、住環境整備論</u> 【key word】環境とは、歴史と時代の流れ、住環境	三田	配布資料	109
第2回 5/18	<u>住環境整備のいろいろ</u> 【key word】人的要因、環境的要因、精神的要因	三田	配布資料	109
第3回 5/24	<u>住環境整備と理学療法、ICF①</u> 【key word】院内評価、カンファレンス、外泊・外出訓練	三田	配布資料	109
第4回 6/1	<u>住環境整備と理学療法、ICF②</u> 【key word】ICF、環境因子	三田	配布資料	109
第5回 6/8	<u>整形疾患の生活環境論</u> 【key word】慢性関節リウマチ、変形性関節症	三田	配布資料	109
第6回 6/14	<u>中枢神経疾患の生活環境論</u> 【keyword】脳卒中、片麻痺、移乗介助者	三田	配布資料	109
第7回 6/22	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具①</u> 【key word】リフター、昇降機、スロープ、手すり	三田	配布資料	109
第8回 6/22	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具②</u> 【key word】自助具、Self help devaice、	三田	配布資料	109
補習 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際①</u> 臨床で働かれている外部講師を招聘しての授業	外部 講師	配布資料	201
補習 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際②</u> 外部講師の授業を体験して	外部 講師	配布資料	201

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人体構造学	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	宮下 正好	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・解剖学実習・生理学・運動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法を行う上で必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能:骨・関節・筋の基礎、四肢・体幹の構造と運動を学ぶ。 2. 神経・感覚:中枢神経、末梢神経、体性感覚、特殊感覚を学ぶ。 3. 植物機能:循環器、呼吸器、消化器、排泄、代謝、内分泌を学ぶ。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は、解剖学・生理学・運動学の総復習を行う。 ・授業内では、最重要事項を抜粋して説明する。授業で扱う内容は確実に覚えること。 ・教科書・参考書を活用し、より深い知識の習得に努めること。 						
教科書・参考書						
<p>【教科書】国試の達人 PT・OTシリーズ2023年 運動解剖生理学編 第28版(アイベック) 【参考書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版(医学書院) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学(医学書院) 基礎運動学 第6版(医歯薬出版)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>この授業の後期末試験は、3年間で最終の試験となる。事実上の 卒業試験 と認識すること。 進捗に応じて内容を変更することがある。任意参加の補習を実施する場合がある。 教科書の出版は6月以降の予定。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験100%で成績評価を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		<p>正当でない理由での欠席・遅刻などは減点の対象とする。 無礼な行為、迷惑行為、授業中の飲食・スマートフォンの使用、授業についてのSNS等への投稿等 は減点の対象とする。</p>				
(合計)	100					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6月21日	運動機能:骨・関節・筋 骨・関節・筋の基本構造、機能を学ぶ。【KW】骨の構造・関節の構造・分類・筋の構造・筋の収縮メカニズム 他	宮下	1章・2章 3章・4章	201
第2回 6月21日	運動機能:上肢(肩甲帯・肩関節) 肩甲帯・肩関節の構造と運動を学ぶ。【KW】肩甲上腕関節・肩の靭帯・肩甲骨の運動と筋・肩の運動と筋 他	宮下	5章	201
第3回 6月28日	運動機能:上肢(肘・手・手指) 肘・前腕・手・手指の構造と運動を学ぶ。【KW】肘関節・肘角・肘の靭帯・手関節・手指の運動と筋 他	宮下	5章	201
第4回 6月28日	運動機能:下肢(骨盤・股関節) 股関節の構造と運動を学ぶ。【KW】股関節・股関節の靭帯・骨盤に付着する筋・股関節の運動と筋 他	宮下	6章	201
第5回 7月5日	運動機能:下肢(膝関節・足関節) 膝、足の運動と構造を学ぶ。【KW】膝関節・膝半月・膝の靭帯・大腿の筋と運動・足関節・足のアーチ 他	宮下	6章	201
第6回 7月5日	運動機能:顔面と体幹 顔面・体幹の運動を学ぶ。【KW】咀嚼筋・表情筋・脊柱の関節・脊柱の靭帯・体幹の運動と筋 他	宮下	7章	201
第7回 7月12日	運動機能:姿勢・歩行 立位姿勢と歩行の基礎事項を学ぶ。【KW】重心・主要姿勢筋・歩行周期・歩行率・重心移動・筋活動・床反力 他	宮下	8章・9章	201
第8回 7月12日	運動機能:力学・運動学習 バイメカニクスの基礎と運動学習を学ぶ。【KW】運動の単位・てこ・エネルギー・フィードバック・KR・動機づけ 他	内田成男 (学校長)	10章・11章	201
第9回	神経・感覚:神経生理 ニューロンの構造と伝導・伝達を学ぶ。【KW】ニューロン・神経膠細胞・神経伝達物質・神経系の構造・伸張反射 他	宮下	12章	
第10回	神経・感覚:中枢神経 中枢神経の構造と機能を学ぶ。【KW】大脳の構造・大脳の機能局在・大脳基底核・間脳・脳幹・伝導路・脳循環 他	宮下	12章	
第11回	神経・感覚:末梢神経 脳神経・脊髄神経・自律神経を学ぶ。【KW】脳神経の起始核・腕神経叢・筋と支配神経・交感神経・副交感神経 他	宮下	12章	
第12回	神経・感覚:感覚と受容器 体性感覚・特殊感覚を学ぶ。【KW】皮膚の構造・体性感覚の受容器・神経線維の分類・伝導路・筋紡錘・視覚 他	宮下	13章	
第13回	植物機能:循環系 心臓と脈管を学ぶ。【KW】心臓の構造・刺激伝導系・心臓の調節・冠状動脈・大動脈弓と分岐・静脈の合流・リンパ 他	宮下	14章	
第14回	植物機能:呼吸系 呼吸器の構造と働きを学ぶ。【KW】気管と気管支・肺・肺気量分画・呼吸の調節・ガスの運搬・酸塩基平衡 他	宮下	15章	
第15回	植物機能:消化と吸収 腹部消化管の構造と消化・吸収を学ぶ。【KW】食道・胃・小腸・大腸・胆・肝・膵・門脈・消化酵素 他	宮下	16章	
第16回	植物機能:泌尿器 尿の生成と排泄を学ぶ。【KW】ネフロン・腎小体・濾過・再吸収・膀胱・膀胱の神経支配・排泄(排尿,排便) 他	宮下	17章	
第17回	植物機能:代謝・ホルモン 基礎代謝と内分泌を学ぶ。【KW】基礎代謝・代謝当量・体温・下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・副腎ホルモン 他	宮下	18章・19章	
定期試験	後期末試験(第1回～第17回の範囲で行う)			

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーションと障害	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	内田成男/中村直人/ 野村めぐみ	臨床医学(病理学、脳神経外科学、神経内科学、内科学、精神医学、臨床心理学、整形外科学など)				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は理学療法士・作業療法士・心理学専門家が担当します。臨床および教育における実務経験を踏まえ、リハビリテーション対象疾患の要点を整理し、疾患の理解を深めることを教授して行きます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法の実施に必要な臨床医学等の知識を再確認し、臨床実践に活用する。					
行動目標(SBO)	以下の疾患等について、理学・作業療法を実施する上で重要事項を整理し理解する。 1. 病理学の基礎とリハビリテーション医学 2. 脳血管障害および神経・筋疾患、 3. 内科系疾患(呼吸・循環・代謝系の疾患中心) 4. 臨床心理学の基礎と精神科疾患 5. 整形外科的(運動器)疾患					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は1. 2年生で学んだ臨床医学・臨床心理学・病理学等の知識を整理し、理学療法・作業療法を実施する上で重要な事項を復習していく専門基礎科目です。前後期を通して開講しますが、かなり広範な知識を整理し習得しなければなりません。日々の積み重ねによる粘り強い学習が求められます。 重要なポイントを短絡的に覚えるだけでなく、その背景や関連事項も理解していきましょう。教科書(国試の達人:臨床医学編)の練習問題を解きながら、自己の理解不足を確認していくことが大切です。						
教科書・参考書						
教科書:国試の達人 PT・OTシリーズ2023年 臨床医学編(第24版) アイベック 前期後半の出版予定 ※病理学、内科学、臨床心理学、神経内科学、整形外科学、脳神経外科学など関連する臨床医学の指定教科書 参考書:医学大辞典およびこれらの電子辞書等(南山堂または医学書院)、関連科目の書籍等						
受講時留意点、その他						
この科目の後期末試験は、最終学年、最終の定期試験となります。 進度に応じて内容、日程を変更することがあります。 このシラバスは前期分のみです。後期分の日程、内容を含めたシラバスは、後期開始時に改めて配布します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験および後期末試験を行います。それぞれ60%以上を合格基準とします。 後期末試験は前期の範囲を含め出題し、成績評価を行います。 出題形式は多肢選択方式、マークシートの解答用紙を使用します。				
小テスト		2~3回の要点学習のための小テストを予定しています。成績評価には含めませんが、臨床実践で活用できるよう真剣に取り組んでください。				
レポート		なし				
実技試験		なし				
プレゼンテーション		なし				
その他		授業に対する迷惑行為、正当な理由のない遅刻・欠席、不適切な受講態度は、成績評価の減点ポイントとします。【注意】9回目以降の授業予定=後期の時間決定後に提示する。				
(合計)	100					

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6月24日	コースオリエンテーション: 授業の概要と進め方 病理学① 専門用語の確認、循環障害、変性疾患、進行性疾患の基礎を理解する。【KW】感染、虚血、うつ血、変性、萎縮、壊死、肥大など	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第2回 6月24日	病理学②・リハビリテーション概論 炎症と腫瘍、感染対策・リスク管理、リハビリテーション概論について理解を深める。【KW】炎症の症状、腫瘍の分類、転移、標準的感染予防、臨床検査の意味	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第3回 7月1日	中枢神経神経・筋疾患① 脳血管障害、脳性麻痺等について理解する【KW】神経症候、上位下位ニューロン、脳卒中、脳性麻痺の分類	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第4回 7月1日	中枢神経・筋疾患② 変性疾患、脱髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患などについて理解する。【KW】錐体路・錐体外路、多発性硬化症、筋ジストロフィーなど	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第5回 7月8日	一般内科① 呼吸・循環器疾患について理解する。【KW】COPD、心不全、TAOとASOなど	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第6回 7月8日	一般内科② 代謝疾患、血液疾患、消化器疾患、膠原病などについて理解する。【KW】IDDM、NIDDM、痛風、肝炎、腎不全、RA、SLEなど	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第7回 7月15日	病理学、中枢神経・筋疾患、内科疾患のまとめ① 第1～6回目までの授業の復習と模擬問題へ	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
第8回 7月15日	病理学、中枢神経・筋疾患、内科疾患のまとめ② 苦手分野・理解不足の確認・整理・再学習	内田	教科書 第23版より	配布資料 等 202
定期試験	前期末定期試験(前期の授業範囲)			
第9回	精神医学① 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。【キーワード】思考障害、統合失調症、うつ病、躁病、てんかん、他	野村		
第10回	精神医学② 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。【キーワード】神経症、認知症、知的障害、行動症候群、中毒など	野村		
第11回	臨床心理学① 心理学領域の専門用語を確認し、防衛機制、心理検査などについて理解を深める。【キーワード】防衛機制、心理検査(知能、性格等)、心理療法など	中村直人		
第12回	臨床心理学②・人間発達学 心理学領域の基礎知識を整理し理解する。また、人間発達の基礎知識について復習する。【キーワード】障害受容、記憶、転移、学習、発達、運動発達、反射・反応など	中村直人		
第13回	整形外科① 末梢神経障害、骨折・脱臼、脊髄損傷について理解する。【KW】Seddonの分類、骨折治癒過程、Frankel分類、ASIAなど	内田		
第14回	整形外科② RA、変形性関節症、脊柱・上肢・下肢の疾患について理解する。【KW】RAの診断基準・Stage、根症状、先股脱など	内田		
第15回	第9～14回までのまとめ。 病理学、リハビリテーション概論、精神医学、臨床心理学、人間発達学各領域の確認テストと解説	内田		
第16回	リハビリテーションと障害 全領域のまとめと確認	内田		
定期試験	後期末 定期試験 試験範囲＝前後期の授業範囲			

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

専門	理学療法研究	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	渡邊 祥子(非常勤)	基礎理学療法学、情報統計科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	桜美林大学大学院老年学研究科老年学専攻博士前期課程を修了し、学会で研究発表を行ってきました。実際に研究を行ってみて、必要となった知識について講義し、研究の流れを予備実験まで体験して頂き研究指導を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法を実践する際に生じる疑問や問題の解決手段として研究方法論を理解する。					
行動目標(SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ①研究の流れが言える ②信頼性と妥当性が説明できる ③研究倫理について説明できる ④データ尺度を説明できる ⑤統計手法について説明できる ⑥研究計画を立てることができる ⑦研究計画書を作成することができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法を行う上で、研究的視点があると解決しやすいことがあります。そのため研究に必要な基礎知識を学びます。その後実際に研究計画を立てて、予備実験を行うといった研究の流れを一部体験します。困ったことがあれば、その都度担当教員に相談や報告を行うようにして、課題の提出忘れがないように気をつけて下さい。						
教科書・参考書						
教科書: 内山靖(編)「標準理学療法学 理学療法研究法」 医学書院						
受講時留意点、その他						
課題の提出期限は授業中にお伝えします。時間厳守で提出下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	課題で評価します。各課題の配分は次の通りです。第1・6・7・9回(各5%) 第11回(30%) 第13回(40%) 第15回(10%)				
(合計)	100					

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6/13(月)	研究法総論 研究する基本姿勢と研究の流れについて学ぶ 【キーワード】研究意義、準備、実行、公表 * 提出課題があります	渡邊祥子	2~14	201
第2回 6/13(月)	研究デザイン 研究のデザインについて学ぶ 【キーワード】記述的研究、分析的研究、横断研究、縦断研究、RCT	渡邊祥子	16~18 89~97	201
第3回 6/13(月)	データのみかた(1) 量的データで使われる用語について学ぶ 【キーワード】尺度、過誤、感度、特異度	渡邊祥子	81~88 106~112	201
第4回 6/20(月)	データのみかた(2) 主に統計について学ぶ 【キーワード】図の特徴、記述統計、差の検定、関連性の検定	渡邊祥子	113~149	201
第5回 6/20(月)	研究論文の構成 論文の構成について学び、実際に論文を読む 【キーワード】IMRAD、PECO、PICO、バイアス	渡邊祥子	176~182	201
第6回 6/20(月)	先行研究調査(1) 文献を読んで、先行研究の内容を吟味する 【キーワード】文献検索、文献データベース * 提出課題があります	渡邊祥子	44~58	PC室
第7回 6/27(月)	先行研究調査(2) 文献を読んで、先行研究の内容を吟味する 【キーワード】研究背景、PECO * 提出課題があります	渡邊祥子	44~58	PC室
第8回 6/27(月)	研究倫理 研究を行う上で厳守すべき倫理について学ぶ 【キーワード】ヘルシンキ宣言、倫理申請	渡邊祥子	36~42	201
第9回 7/4(月)	研究テーマ選定 研究テーマを決めるために、先行研究を調査する。 【キーワード】研究意義、研究背景 * 提出課題があります	渡邊祥子	44~58	201
第10回 7/4(月)	研究計画演習(1) 研究計画について考える 【キーワード】研究計画 * 提出課題があります	渡邊祥子	19~22	201
第11回 7/4(月)	研究計画演習(2) 研究計画について考える 【キーワード】研究計画 * 第10回の授業の続きです	渡邊祥子	19~22	201
第12回 7/4(月)	研究計画作成演習(3) 研究計画を作成する 【キーワード】研究計画書 * 提出課題があります	渡邊祥子	19~22	201
第13回 7/11(月)	研究計画作成演習(4) 研究計画を作成する 【キーワード】研究計画書 * 第12回の授業の続きです	渡邊祥子	19~22	201
第14回 7/11(月)	予備実験 予備実験を行い、研究方法の妥当性と流れを確認する 【キーワード】データ収集	渡邊祥子	配布資料	201
第15回 7/11(月)	予備実験検証 予備実験から計画書の内容を再検討する 【キーワード】研究計画書 * 提出課題があります	渡邊祥子	配布資料	201

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	小児理学療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	赤岩 龍士	小児科学・運動学・人間発達学・整形外科学・神経内科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	特別支援学校教員資格を有する理学療法士が担当します。行政における療育相談員の経験も併せ、各障害の特性にとどまらず、子どもだけでなく保護者との関わり方についても紹介します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	小児の成長と発達を理解し、脳性まひなどの発達障害の特性を知る。					
行動目標 (SBO)	1 脳性まひの定義を覚え、痙直型・アトニー型・その他の病態及び特徴について説明できる 2 脳性まひの治療方法を、目的を踏まえ説明できる 3 知的発達障害、ダウン症、自閉症、二分脊椎、ペルテス病、先天性股関節脱臼などの特徴や治療目的を説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>こどもの発達過程で生じる様々な変化に興味を持っていただくと良いでしょう。</p> <p>また、発達障害は成人の中枢神経疾患とも密接な関わりがあるので、他の教科と関連していることも念頭に置いてください。</p> <p>①脳性まひの種類とタイプ分類 ②脳性まひをはじめとする各発達障害の特徴 ③小児整形外科疾患の特徴 以上3点が大項目となります。VTRなどの視聴覚教材を多く用いますので、メモをすることや様子や状況を頭に思い浮かべながら受講してください。</p>						
教科書・参考書						
講義資料(初回講義で配布) 参考図書：陣内一保他編「こどものリハビリテーション医学」医学書院 千野直一他編「リハビリテーションMOOK 小児のリハビリテーション」金原出版 五味重春「脳性麻痺 第2版」医歯薬出版など						
受講時留意点、その他						
小児理学療法Ⅰで学んだ正常発達を復習しておきましょう。 講義形式での授業ですが、特異的な姿勢や動作などは身体を動かしながら行う予定です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各講義ごとのレポートをそれぞれ10点で合計80点 Google form使用予定 問題形式のレポートを20点				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/10	脳性まひの病態と疫学 脳性まひの定義や特徴、疫学について学ぶ 【キーワード】CP・定義・特徴	赤岩	第8章	研究室
第2回 6/10	脳性まひのタイプ 脳性まひの病型とそれぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】痙直型・アトーゼ型・麻痺の分布	赤岩	第9章	研究室
第3回 6/13	脳性まひと理学療法① 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導	赤岩	第10章	研究室
第4回 6/14	脳性まひと理学療法② 脳性まひ児の運動療法や介入方法について学ぶ 【キーワード】運動療法・ストレッチング・ADL指導	赤岩	第10章	研究室
第5回 6/14	その他の発達障害① 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	赤岩	第11章 第12章	研究室
第6回 6/20	その他の発達障害② 発達障害の概要を知り、それぞれの特徴について学ぶ 【キーワード】ダウン症・広汎性発達障害・知的発達障害	赤岩	第12章 第13章	研究室
第7回 6/21	整形外科領域 整形外科分野の疾患や病態、理学療法について学ぶ。 【キーワード】二分脊椎・ペルテス病・理学療法	赤岩	第14章	研究室
第8回 6/21	まとめ 運動発達過程および評価、脳性まひ、発達障害、 整形疾患について復習する。	赤岩	第15章	研究室
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
定期試験	実施しない			

(H29-31 カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	症例検討	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	理学療法評価学Ⅰ、Ⅱ、臨床実習Ⅱ、Ⅲ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法における症例に対する検討方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	一連の理学療法思考を整理し、ディスカッションすることが出来る					
行動目標(SBO)	代表疾患(脳卒中、骨折など)の病態について検討の方法を知る。 検討内容について意見の根拠となる知識を教科書等から調べることが出来る。 検討内容を参考に理学療法アセスメントが出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>症例検討とは、症例の理学療法訓練や経過などから、提供した理学療法と理学療法士の思考過程を検討することです。この授業では、症例検討に必要な知識とプレゼンテーションに必要な態度や話し方等を学びます。前半は、症例検討の仕方や実際の発表の仕方を学び、後半は臨床実習の経験をもとに症例検討会を体験していただきます。検討会では、話す態度や聴く態度も重要です。また、発言数も成績に関与されます。活発な検討会が出来るよう準備をしていきましょう。</p>						
教科書・参考書						
特に指定なし						
受講時留意点、その他						
<p>体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 *このシラバスは前期分とし、後期分は後期開始時に配布する。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	50	授業での提出物が対象(授業内で終わらない場合は宿題)。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション	40	体験発表会を実施します。(詳細は、授業内で説明)				
その他	10	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定で考慮する場合があります。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

(H29-31 カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	<u>症例検討とは</u> 症例検討の意義や目的を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第2回 4/8	<u>症例検討の方法①</u> 書式に沿って症例検討を進める方法を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第3回 4/8	<u>症例検討の方法②</u> 自らのテーマに沿って症例検討を進める方法を学ぶ。	三田久載	配布資料	202
第4回 6/14	<u>症例検討①</u> 臨床実習での経験を書式に合わせて整理する。	三田久載	配布資料	202
第5回 6/17	<u>症例検討②</u> 臨床実習での経験を整理した内容から、発表の準備を行う。	三田久載	配布資料	202
第6回 6/23	<u>症例検討③</u> 臨床実習での経験を発表し、テーマに合わせてディスカッションする。	三田久載	配布資料	202
第7回 6/24	<u>症例検討④</u> 検討内容を整理し、書式に合わせてまとめる。	三田久載	配布資料	202
第8回 6/28	<u>まとめ</u> 次の実習に向けてリサーチクエスチョンを検討する。	三田久載	配布資料	201
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				
第16回				
定期試験	なし			

3年生 : (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学	2	60	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹、大沼賢洋	運動学、運動機能評価学、神経機能評価学、整形外科学、中枢神経疾患理学療法学、神経筋疾患理学療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期・後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の専門分野における基礎学力が向上するように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法専門分野における基礎学力の習得する。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法の「理学療法評価法」を学ぶ。 2. 理学療法の「整形外科学」を学ぶ。 3. 理学療法の「脳血管障害」を学ぶ。 4. 理学療法の「神経筋障害」を学ぶ。 5. 理学療法の「脊髄損傷」を学ぶ。 6. 理学療法の「生体力学」を学ぶ。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は、理学療法の専門知識を復習し、臨床現場で必要な知識の習得を目的とします。						
教科書・参考書						
教科書 : 国試の達人2023(理学療法科学学会編) クエスチョンバンクPT専門(メディックメディア) 参考書 : 病気が見える 脳・神経:(メディックメディア) 基礎運動学第6版補訂:(医歯薬出版株式会社)など						
受講時留意点、その他						
体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう。 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 注意深く見ておくようにして下さい。 このシラバスの授業スケジュールは前期分のみです。後期開始時に後期分を加えたシラバスを新たに配布します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験、後期末試験を行う。それぞれ6割以上で合格とする。前期試験(100点満点)は再試験を行わない。(補習対象とする)後期試験(360点満点)で得点率が60%未満の者は再試験(180点満点)を行なう。後期再試験結果が60%未満の場合、前期試験の結果から60点を引いた残りの値の1/4を加算し60%を満たす場合のみ、合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

3年生 : (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/15	学習方法の検討・イントロダクション	市村真樹	配布資料	研究室
第2回 6/15	<u>理学療法評価法 1</u> 【キーワード】可動域測定・MMT	市村真樹	配布資料	研究室
第3回 6/16	<u>理学療法評価法 2</u> 【キーワード】触診・代償運動・筋力低下のみかた	市村真樹	配布資料	202
第4回 6/16	<u>理学療法評価法 3</u> 【キーワード】協調性と平等性・筋緊張・感覚・反射	市村真樹	配布資料	202
第5回 6/22	<u>整形外科 1</u> 【キーワード】関節症・骨折・靭帯損傷・末梢神経損傷・上肢障害	市村真樹	配布資料	研究室
第6回 6/22	<u>整形外科 2</u> 【キーワード】上肢の障害・下肢の障害・脊椎の障害	市村真樹	配布資料	研究室
第7回 6/23	<u>脳血管障害 1</u> 【キーワード】評価・リスクと問題点	市村真樹	配布資料	201
第8回 6/23	<u>脳血管障害 2</u> 【キーワード】理学療法プログラム急性期・回復期・維持期	市村真樹	配布資料	201
第9回 6/29	<u>神経筋障害 1</u> 【キーワード】パーキンソン病・運動失調症	市村真樹	配布資料	研究室
第10回 6/29	<u>神経筋障害 2</u> 【キーワード】多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症・ギランバレー症候群	市村真樹	配布資料	研究室
第11回 6/30	<u>脊髄損傷 1</u> 【キーワード】機能評価・合併症・機能残存レベルと目標機能	市村真樹	配布資料	202
第12回 6/30	<u>脊髄損傷 2</u> 【キーワード】PTプログラム	市村真樹	配布資料	202
第13回 7/7	<u>生体力学 1</u> 【キーワード】力の合成と分解	市村真樹	配布資料	201
第14回 7/7	<u>生体力学 2</u> 【キーワード】身体とてこ	市村真樹	配布資料	201
第15回 7/14	まとめの演習問題	市村真樹	配布資料	201
定期試験				

3年生 : (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	大沼賢洋、長田美紀	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、運動機能評価学、神経機能評価学、骨関節疾患理学療法学、中枢神経理学療法学など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期・後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、基本的な理学療法の評価や治療の仕方を身に付けることができるように授業をしていきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	臨床に対応した知識・技術を身につける。					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報から対象にあった評価・治療を立案できる。 2. 対象の状態、場所にあわせて評価・治療ができる。 3. 対象に妥当性のある検査・測定を選択し、実施・評価できる。 4. 実施した内容を診療記録(SOAP)でまとめることができる。 5. リスク管理ができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は臨床実習Ⅲにあたり、実習に耐えうる知識技術を身につける授業である。臨床実習で多く遭遇する疾患を提示し、具体的に評価・治療を進められるよう授業を行う。実技試験ではOSCE形式をとる。OSCEとは客観的臨床能力試験と呼ばれるものであり、その名の通り臨床能力をを測る試験である。臨床実習で問われる能力をここで身につけるよう、不明な点は積極的に質問し解決していくこと。また、授業時間だけでは練習が不足するため、放課後や空き時間を利用しすすめてほしい。事前に教員にアポイントをとっていただければ一緒に練習をすることが可能である。						
教科書・参考書						
特に指定しない						
受講時留意点、その他						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習開始前、必ず手洗いをすること。 2. Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装、靴下は白を着用し出席すること。 3. 服装、身だしなみは清潔感のあるものとする。 4. 実習施設であると思えば緊張感を持つこと。 5. 被験者を本当の患者であるように対応すること。 6. OSCE実施時は実習衣を着用すること。 7. 感染予防対策を徹底してください。 						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	30	後期:15回終了後レポートを作成し提出する。レポートは提出期限を15回終了1週間後とする。 文字数は1600字とする。採点は1. 提出期限を守る。2. 様式を守る。3. 誤字脱字がない。 4. 意見を述べる。以上を中心に採点する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	70	前期:授業中に整形疾患と中枢神経疾患各1症例提示し、OSCEでは提示した症例について実技技能を確認する。確認項目についても事前に口頭で伝達する。授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。				
(合計)	100					

3年生 : (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/4	オリエンテーション、症例提示① この授業で目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を1例提示する。	大沼		治療室
第2回 4/4	症例提示② 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	長田		治療室
第3回 4/4	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼		治療室
第4回 4/5	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第5回 4/5	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第6回 4/5	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第7回 4/5	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		治療室
第8回 4/6	OSCE① 提示した症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼		治療室
第9回 4/7	実技指導⑥ 提示した症例問題に対し評価・治療の振り返りを行う。	大沼		治療室
第10回 7/20	症例提示③ 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を1例提示する。	大沼		機能訓練 室
第11回 7/20	症例提示④ 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	長田		機能訓練 室
第12回 7/20	実技指導⑦ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	長田		機能訓練 室
第13回 7/21	実技指導⑧ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	大沼		機能訓練 室
第14回 7/21	OSCE② 提示した症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	大沼		機能訓練 室
第15回 7/21	実技指導⑨ 提示した症例問題に対し評価・治療の振り返りを行う。	大沼		機能訓練 室
定期試験				

(H29-31 カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	生活環境論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	三田久載	社会福祉概論、日常生活活動学、地域リハビリテーション学、臨床実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次前期	この授業は理学療法士が担当します。医療・福祉施設での理学療法の実務経験を基に、生活に対する理学療法治療学としての環境設定の仕方を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	生活復帰、自宅復帰に向けた環境設定を通じた理学療法の流れを学ぶ					
行動目標(SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境論の概念を理解する 住環境整備の流れを理解し、理学療法士の役割を説明できる。 関連する制度や法律を理解し、説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業は、今までに学習した知識や技術を生活復帰・自宅復帰に向けてどのように結び付けていくかを学ぶ授業です。まずは、いま自分が持っている知識や技術がどのように結びつくのか考えながら受講しましょう。そして、うまく結びつかないところを結びつけるために質問したり調べ学習を進めていくと良いでしょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書 なし 参考書 標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学第5版 医学書院 理学療法テキストX 生活環境論 神陵文庫 福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 東京商工会議所</p>						
受講時留意点、その他						
<p>講義や演習、グループワークに積極的に参加すること。 体調管理に留意し、欠席しないようにしましょう。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		定期試験は行いません。				
小テスト						
レポート	100	<p>授業での提出物が対象。 提出期限を順守できる、丁寧に書式を守り仕上げられるなどで評価する。 (詳細は授業内で説明) 未提出の場合は大幅な減点とし、状況によっては延長授業の受講を禁じる場合がある。</p>				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	<p>授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装の範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。</p>				
(合計)	100					

(H29-31 カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 6/16	<u>ガイダンス、住環境整備論</u> 【key word】環境とは、歴史と時代の流れ、住環境	三田	配布資料	106
第2回 6/16	<u>住環境整備のいろいろ</u> 【key word】人的要因、環境的要因、精神的要因	三田	配布資料	106
第3回 6/17	<u>住環境整備と理学療法、ICF①</u> 【key word】院内評価、カンファレンス、外泊・外出訓練	三田	配布資料	106
第4回 6/17	<u>住環境整備と理学療法、ICF②</u> 【key word】ICF、環境因子	三田	配布資料	106
第5回 7/6	<u>整形疾患の生活環境論</u> 【key word】慢性関節リウマチ、変形性関節症	三田	配布資料	106
第6回 7/6	<u>中枢神経疾患の生活環境論</u> 【keyword】脳卒中、片麻痺、移乗介助者	三田	配布資料	106
第7回 7/12	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具①</u> 【key word】リフター、昇降機、スロープ、手すり	三田	配布資料	106
第8回 7/12	<u>住環境整備に関わる福祉機器・用具②</u> 【key word】自助具、Self help devaice、	三田	配布資料	106
第9回 7/13	<u>生活社会を取り巻く環境：関連法規を中心に</u> 【key word】介護保険法、地域包括ケアシステム、PTOT法	三田	配布資料	106
第10回 7/13	<u>住環境を取り巻く諸制度</u> 【key word】尺貫法、建築基準法、ハートビル法	三田	配布資料	106
第11回 7/14	<u>住宅改修のケーススタディー①</u> 実際の症例に即して改修案を考える。	三田	配布資料	106
第12回 7/14	<u>住宅改修のケーススタディー②</u> 実際の症例に即して改修案を考える。	三田	配布資料	106
第13回 7/19	<u>住宅改修のケーススタディー③</u> 改修案を比較検討する。	三田	配布資料	106
第14回 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際①</u> 臨床で働かれている外部講師を招聘しての授業	外部 講師	配布資料	106
第15回 7/22	<u>住環境整備に関わる理学療法の実際②</u> 外部講師の授業を体験して	外部 講師	配布資料	106
定期試験	なし			